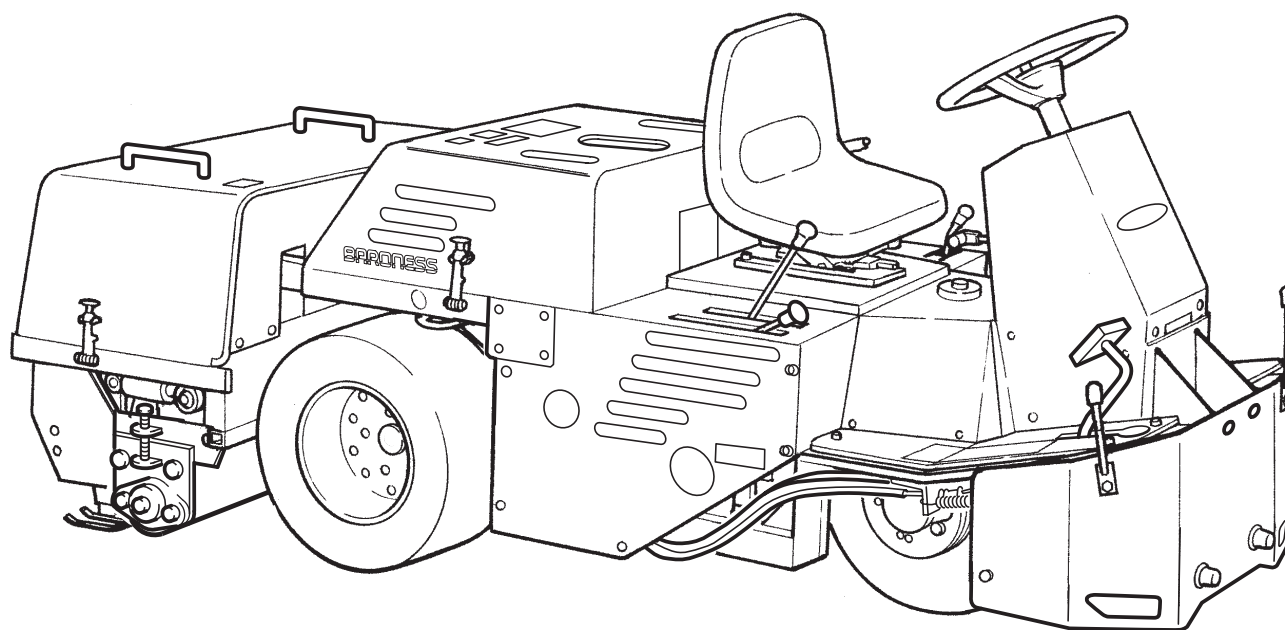


# ***GAI100A***

## 取扱説明書&パーツカタログ

グリーンエア



“必読” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの取扱説明書をお読みください。

Serial No.20132-

**BARONESS**<sup>®</sup>  
Quality on Demand

# 目 次

安全に関する警告について	1	6-1. <b>▲注意</b> 次の箇所を点検	15
ごあいさつ	1	6-2. <b>▲注意</b> メンテナンスの注意	16
安全作業のための注意事項 <b>▲危険</b> <b>▲警告</b> <b>▲注意</b>	2	6-3. <b>▲注意</b> マフラ・エンジンの注意	16
各部の名称	5	6-4. <b>▲警告</b> 高圧オイルによる被害の防止	16
各部のラベル	6	6-5. その他	16
GA1100Aの特長	7	6-6. <b>▲危険</b> 燃料取扱い上の注意	16
仕様	7	6-7. <b>▲注意</b> 2人作業時の注意	16
取扱説明		6-8. <b>▲注意</b> エンジンについて	16
日常点検について <b>▲警告</b>	8	6-9. <b>▲注意</b> バッテリについて	17
1. 使用前点検	8	7. 各部の点検	17
1-1. エンジンオイルの点検	8	7-1. <b>▲注意</b> エンジンオイル	17
1-2. 油圧作動油の点検	8	7-2. オイルフィルタ	18
1-3. <b>▲危険</b> 燃料の点検	8	7-3. <b>▲注意</b> エアクリーナ	18
1-4. 各摺動部の注油・グリースアップ	8	7-4. <b>▲危険</b> 燃料	18
1-5. <b>▲危険</b> ブレーキの点検	8	7-5. ミッションオイル	19
1-6. <b>▲危険</b> タイン・シュウドウ板の点検	8	7-6. 油圧作動油	19
1-7. <b>▲注意</b> Vベルトの点検	9	7-7. <b>▲危険</b> バッテリ液	20
1-8. クランク部チェンの点検	9	7-8. <b>▲警告</b> サイドブレーキ	20
1-9. タイヤの点検	9	7-9. <b>▲危険</b> ミッションブレーキ	20
2. 各部の締付	9	7-10. <b>▲危険</b> ステアリングチェン	22
3. <b>▲警告</b> エンジンの始動・停止方法	9	7-11. <b>▲注意</b> クランク駆動用チェン	22
3-1. <b>▲警告</b> エンジン始動について	9	7-12. <b>▲注意</b> Vベルト	23
3-2. <b>▲注意</b> エンジン始動	9	7-13. タイヤの空気圧	24
3-3. <b>▲注意</b> エンジン停止	10	7-14. <b>▲注意</b> グリースアップ	24
3-4. <b>▲警告</b> 機械を離れるときの注意	11	7-15. <b>▲警告</b> シュウドウ板	24
4. 各操作方法	11	7-16. タイミングについて	25
4-1. <b>▲危険</b> <b>▲警告</b> 走行の仕方	11	7-17. 電気配線の点検	25
4-2. <b>▲危険</b> クランク部の回転の仕方（手動時）	13	7-18. <b>▲注意</b> タインクラッチ	25
4-3. 作業機の昇降のしかた	13	7-19. <b>▲危険</b> タインの交換	26
4-4. <b>▲警告</b> <b>▲注意</b> 穴あけの深さ調整（手動時）	13	7-20. その他、部品の点検	26
5. 作業方法	14	7-21. 機番プレート取付位置	27
5-1. 作業方法	14	7-22. メンテナンス諸元表	27
5-2. <b>▲注意</b> <b>▲警告</b> 作業時の操作方法	14	8. <b>▲警告</b> 長期保管について	28
5-3. <b>▲危険</b> 走行・作業時の横転	14	9. メンテナンススケジュール	28
5-4. <b>▲危険</b> 発進時における前輪の向き	15	10. <b>▲危険</b> オプション製品	29
6. <b>▲警告</b> 点検整備	15	11. 油圧回路図	30
		12. 電気回路図	31
		13. クランクタイン部参照図	32

## 安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

### 警告表示について

- ▲ 危険** : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
- ▲ 警告** : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
- ▲ 注意** : その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損傷の発生が予想されるものを示しています。



## ごあいさつ

このたびは、バロネス管理機・乗用グリーンエアGA1100Aをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、本機の正しい取扱方法と調整方法、また点検方法について説明しています。機械をご使用になる前に必ず本書を読んで、内容を十分に理解してからご使用ください。

なお、工場完成時には十分な試運転・検査を重ねた上で出荷しておりますが、機械が本来の性能を発揮するためには、取扱方法や作業前後の点検・調整・給油などの日常の管理が大きく影響します。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

### ご注意

- 本機は、形式が順次変わっている場合があります。  
本機に関するお問合せの節は、必ず型式・製造番号を合せてご通知くださいますようお願いいたします。
- なお、本書記載事項は、予告無しに変更することがあります。

### ▲ 注意 … 運転について

- この取扱説明書や機械に使用されている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。操作手順や安全注意事項を注意してお読みいただき、十分理解してからこの機械を運転してください。
- マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換してください。  
なお、本機に貼られている警告表示ラベルは絶対にはがさないでください。

## 安全作業のための注意事項

本機は、タイン（鋭利な棒状）を回転させ芝生に穴をあける機械で、使用する場所、障害物、芝生の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図るとともに他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業されることをメーカーとして強く要望します。

### 1) 安全のための衣服について

#### ▲ 警告

- ・安全のため、機械に巻込まれないきちんとした衣服を着用し、作業に適した保護具・保護メガネ・靴・ヘルメット・手袋等を着用してください。
- ・前かけ、腰タオル、特に長いヒモ類は、巻込まれたり、引っ掛かったりする恐れがあり危険です。



### 2) 緊急時の対応について

#### ▲ 注意

- ・緊急時にエンジンをストップする方法を知っておいてください。

### 3) こんなときは運転しないでください。

#### ▲ 警告

- ・疲れているときは機械を使用しないでください。もし機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し、休憩してください。
- ・病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は機械を使用しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
- ・機械操作に不慣れな場合は、取扱方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。また、子供には使わせないでください。

### 4) 機械を他人に貸すとき

#### ▲ 注意

- ・機械を他人に貸すときは、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こすことがあります。取扱方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前によく読むように指導してください。

### 5) 機械改造の禁止

#### ▲ 注意

- ・機械の改造はしないでください。機械の改造や、当社指定以外の部品などを取付けて運転すると、機械の破損や傷害事故を招くことがあります。
- ・部品および油脂類の交換をするときは、当社が指定するものを使用してください。

### 6) マフラ・エンジン回りのごみは取除く

#### ▲ 警告

- ・エンジン冷却風入口、エアクリーナ空気取入口、マフラ、エキゾーストパイプ部に芝カスなどの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分冷めるのを待って、取除いてください。
- ・運転中や運転停止直後にマフラやエンジン等に触れないでください。ヤケドをする危険があります。



### 7) 夜間走行・作業の禁止

#### ▲ 警告

- ・夜間や天候不良など、視界の悪いときは作業しないでください。

## 8) 高圧オイルによる被害の防止



高圧オイルによる被害を防止するため次のことに注意すること。

- ・高圧オイルが皮膚に吹付けられると、重大な損傷が起きます。
- ・高圧ライン・ホース・接手を外す前に、圧力を逃がすこと。
- ・運転をはじめる前に（高圧になる前に）全ての接手の締め具合を確認すること。
- ・高圧ラインの小穴ノズルには、手や身体を近づけないこと。漏れの点検には、小さな厚紙を使うこと。もし、高圧オイルが皮膚に吹付けられたら、2～3時間以内に医師の手当を受けること。



## 9) スライドシートについて



- ・点検・整備でシートを上げ、前側（ハンドル）に倒す際には、先にシートをスライドさせ最後部まで移動して下さい。前方位置では倒れ落ちてケガをする危険があります。



## 10) 作業開始前の安全点検



- ・全てのカバー類が、所定の位置にきちんと取付けられているか、破損しているところはないか確認してください。
- ・ボルト・ナット類が緩んでいないかよく調べてください。緩んでいる時は、確実に締め付けを行ってください。
- ・ブレーキ・レバー類、タイヤ等の作動に異常がないか確認してください。

## 11) 作業中の注意事項



- ・本機は作業時の旋回性能を高めるため、3輪仕様になっています。このため通常の4輪車のような走行をすると横転する危険があります。特に斜面での旋回等は

横転しやすいので傾斜角度の緩い所で行ってください。



- ・坂道を下るときは必ず、1速または2速で低速走行すること。また、坂道を下っているときはクラッチペダルを踏まないでください。エンジンブレーキが効かなくなり危険です。

- ・本機はグリーン用管理機械ですので傾斜地での使用は横転の危険が非常に高いので使用しないでください。
- ・地盤沈下や地滑りの危険性のある場所では使用しないでください。
- ・凹凸の激しい斜面では、転倒する恐れがありますので、使用しないでください。

- ・濡れた斜面では、スリップして転倒する恐れがありますので、使用しないでください。

- ・本機は全長が長いので、旋回は周囲の人や物に注意してください。また、作業機が下がった作業状態にあるときは、後進や旋回はしないでください。



- ・動力作動中はタイヤやチェーンなどの可動部分に触れないでください。手や足にケガをする危険があります。

- ・運転中は周囲の安全（前後左右、立木や溝、圃場の凹凸、散水機、カップなど）を確認し、いつでも緊急停止できる速さで作業してください。急発進、急ブレーキや急ハンドルなどの操作はしないでください。特に坂道を下るときは、必ず低速走行してください。

- ・プレイヤーが近くにいないか確認してください。打球が飛んでくる危険があります。



- ・運転作業は慎重に、脇見、手放し運転などは絶対に行わないでください。

- ・公道は絶対に走行しないでください。

▲ 注意



- ・作業中、異常振動や異常音の発生（針金・ビニールなどがタイヤ部に巻付き）など、機械の異常を認めたら直ちにエンジンを停止して原因を調べ、完全に補修した上で再使用してください。
- ・作業前に石、針金、棒切れなど障害物は取除いてください。作業機の故障の原因になるばかりでなく、飛散して事故を起こす恐れがあります。
- ・機械から離れるときは平坦地に置き、エンジンを止めスタータキーを抜き、必ず駐車ブレーキを掛けて輪止めをしてください。
- ・作業機はゆっくりと降ろし、芝や作業機を損傷しないようにしてください。
- ・障害物に衝突したら、エンジンを停止し、各部の破損の有無を点検してください。
- ・タイヤを回転させずに作業機を下げて前進しないでください。芝や作業機に重大な損害をもたらします。
- ・作業機が下がり地面に接地している時は、後進しないでください。芝や作業機に重大な損害をもたらします。

12) 点検・整備時の注意事項



- ・実施する保守・点検を熟知してください。
- ・機械が作動中は、給油や保守・点検をしないでください。
- ・駆動、作動部分には手足を近づけないでください。
- ・全部品は良い状態で正しく取付けてください。
- ・損傷部品は直ちに修理、交換してください。
- ・摩耗損傷部品は交換してください。
- ・機械の改造はしないでください。整備上の必要部品は、安全確保のため純正部品を使用してください。
- ・ゴミやグリース、オイルの付着は取除いてください。
- ・電気システムのメンテナンスをする前には、バッテリーのマイナス(-)配線を外してください。

▲ 警告



▲ 注意



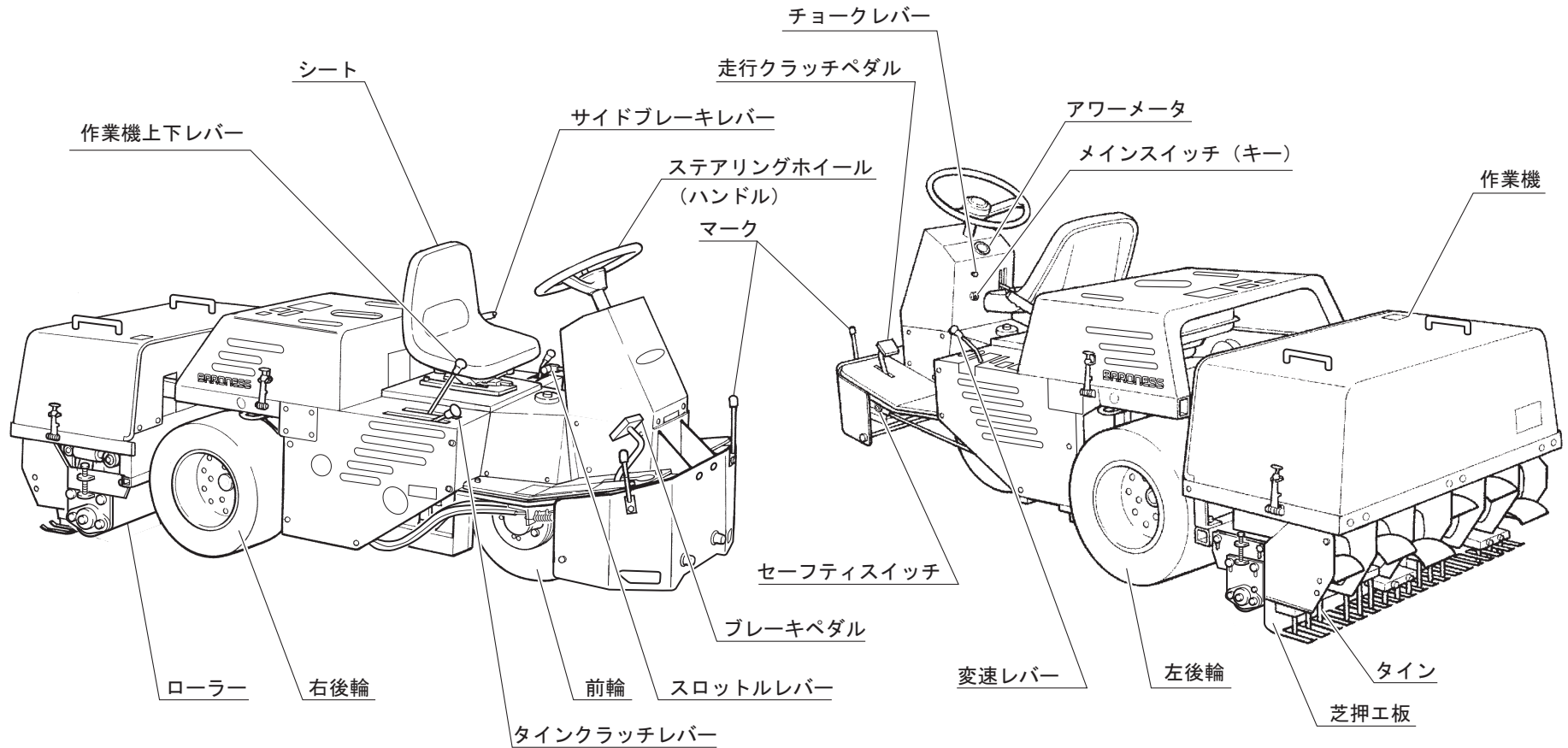
- ・保守・点検は交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない乾燥したきれいな平坦な場所で、輪止めをして行ってください。
- ・作業機を点検・整備・修理・掃除をする場合は必ず駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して回転部が完全に停止してから行ってください。また、室内および換気の悪い場所では、エンジンをかけないでください。排気ガスは有害な一酸化炭素が含まれています。
- ・作業機の下へもぐったり、足を踏入れたりしないでください。
- ・タイヤの取付け、取外しなどでタイヤを持つときは、厚手の手袋を使用してください。
- ・全てのカバー類が、所定の位置にきちんと取付けられているか、破損しているところはないか確認してください。
- ・タイヤの固定にゆるみがあったり損傷があると、タイヤが折れたり外れて飛散する恐れがあります。作業前にゆるんでないかよく調べてください。ゆるんでいるときは、確実に締付けを行ってください。
- ・機械を分解してベアリングなどを交換する場合は、部品で指や手を挟まないでください。

- ・作業機落下防止のため、フレームの下に必ず木の台などの適切な支えを入れてください。
- ・ボルト・ナット類が緩んでいないかよく調べてください。緩んでいるときは、確実に締付けを行ってください。
- ・注意マークや説明文はきれいに保ち、無くなったり、損傷がある場合は、すぐに新しいものに取替えてください。
- ・作業機単体で保管（格納）する場合は、作業機を固定し平坦な場所に置いてください。

13) 保管について

- ・機械にシート等を覆いかける場合は、エンジン部、ミッション部、回転部等が冷えてから行ってください。

## 各部の名称



# 各部のラベル

K 4205000590

**注意**

メンテナンスの注意

- 1・実施するメンテナンスを熟知して下さい。
- 2・メンテは乾燥したきれいな場所で実施して下さい。
- 3・機械が作動中は、給油やメンテをしないで下さい。
- 4・作動中は、駆動・作動部分には手足を近づけないで下さい。
- 5・全ての駆動を断ち、各コントロールを操作して圧力を解除して下さい。
- 6・全部品は、良い状態で正しく取り付けて下さい。
- 7・損傷部品は直ちに修理、交換して下さい。
- 8・摩耗損傷部品は、交換して下さい。
- 9・ゴミやグリス、オイルの付着は、取り除いて下さい。
- 10・電気系統のメンテナンスをする前には、バッテリーのマイナス（-）配線を外して下さい。

K4205000590

K 4205000670

**注意**

動力作動中は回転物に触れないで下さい。ベルトや回転物で指や手をケガをする危険があります。

K4205000670

K 4205000720

**注意**

- 1・燃料補給時は、火気厳禁です。
- 2・補給は野で、エンジンを停止しエンジンを冷やしてから行なって下さい。こぼれた燃料は拭き取って下さい。
- 3・火災を防ぐため、機械は常にきれいに灰やゴミの堆積、グリス・オイルの付着がないようにして下さい。

K4205000720

K 4205000370

**危険**

- ・タイヤでケガをしないよう気を付けること。
- ・運転中、まわりに人がいないか確認し作業をすること。
- ・防護カバーは、必ず取り付けて使用すること。

K4205000370

K 4205000480

**注意**

この防護カバーは必ず本機に取り付けて作業して下さい。

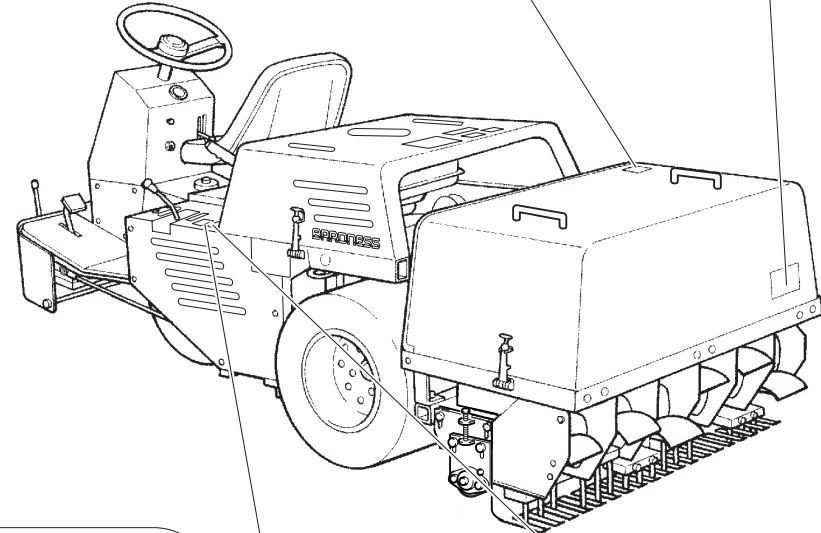
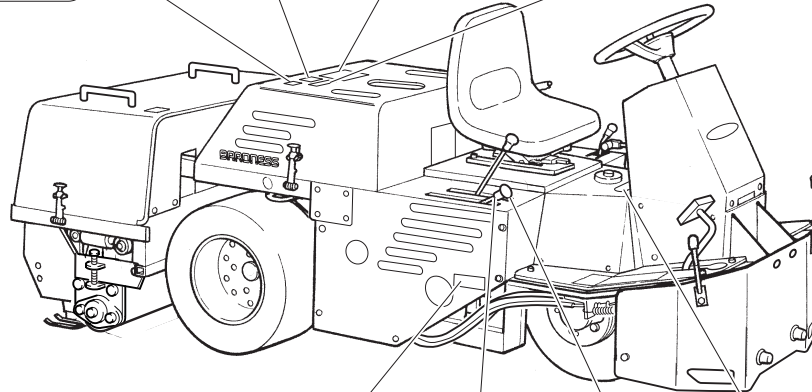
K4205000480

K 4205000480

**注意**

この防護カバーは必ず本機に取り付けて作業して下さい。

K4205000480



**公道乗車禁止**

K4205001660

K 4205001660

**注意**

運転中及び運転停止直後にカバーやマフラーにふれないで下さい。やけどをする危険があります。

K4205000560

K 4205000560

**注意**

レバーの動きが悪くなると中立がでなくなり、パッケージ内の油温上昇の原因となりますので、定期的に注油をして下さい。

K4205001130

K 4205001130

**注意**

(クラッチ)  
テンションクラッチは作業直前に入れ、それ以外の時は必ず切っておいて下さい。

K4205000650

K 4205000650

**警告**

傾斜地下り坂での3速走行は、エンジンブレーキの効きが悪いので、使用しないこと。

K4205001150

K 4205001150

**警告**

傾斜地使用警告事項

10度以上の傾斜地で使用の際は、下記事項を必ず守ること。

1. 20度以上の急傾斜地での走行は、横転の危険が非常に高いので使用しないこと。
2. 第3速での走行移動は、車体が不安定なため横転の危険が非常に高いので使用しないこと。特に傾斜地の下りは、エンジンブレーキのききが悪くなるので第2速または第1速で走行すること。
3. 傾斜地では作業前に穴・岩石・木の根・(その他不法投棄物)等を確認してから、充分気を付けて走行すること。
4. 旋回は傾斜角度のゆるい所で行うこと。

K4205001430

K 4205001430

## GA1100A の特長

- 車輪幅より作業幅が広いので、作業跡をタイヤで踏みません。
- 3輪でホイールベースが短いため、旋回性に優れています。
- シリンダスプリングボックスの採用により、アンジュレーションに対応します。
- 高能率作業、1グリーン[600m<sup>2</sup>(6a)]約30分で仕上げる事が出来ます。

## 仕様

標準寸法	全長256cm 全幅117cm 全高107cm
エンジン	ブリグスV型2気筒627cm <sup>3</sup> (0.627L) モデル 386447
	最大出力16.2kW(22PS)/3,600rpm 燃料タンク15dm <sup>3</sup> (L)
車輪	前輪 19×10.5-8-4PR 100kPa (1kgf/cm <sup>2</sup> )
	後輪 20×12.00-10-4PR 140kPa (1.4kgf/cm <sup>2</sup> )
変速	前進3段・後進1段
速さ	前進第1速 1.5km/h 第2速 3.0km/h
	第3速 7.6km/h 後進 1.0km/h
作業速さ	前進第1速 1.5km/h
作業幅	108cm
パイプ刃タイン	φ16 125mm(標準タイン)
深さ	最大80mm(条件による)
ピッチ	68mm
間隔	60mm
クランク数	6連
タイン数	18本
能率	1050m <sup>2</sup> (10.5a)/h ~ 1620m <sup>2</sup> (16.2a)/h
備考	エンジン最高回転速度：出荷時 2600±100rpm
総質量	820kg
最大傾斜角度	10°以下 (※ 20°までは本文[5-3]1)を参照)

## 取扱説明



警告

### 日常点検について

作業する前に、この取扱説明書を参考に必要な点検は必ず行ってください。

特に、ブレーキおよびクラッチ関係は、忘れないでください。点検を怠ると、ブレーキの効きが悪かったり、クラッチが切れなかったりして、走行中や作業中の思わぬ事故につながります。

### 点検しないと

死亡事故や傷害、機械の破損の原因になります。

## 1. 使用前点検



点検方法についての詳細は、17ページの「7. 各部の点検」を参照してください。

1-1

### エンジンオイルの点検

エンジンに付属のエンジン取扱説明書を必ず読んでください。

- ・本機を水平にしてオイルレベルゲージでオイルの量を調べてください。上限と下限の間にあれば適量です。
- ・オイルが不足している場合は補給し、汚れている場合は交換してください。

1-2

### 油圧作動油の点検

機械を水平にし、作業機を上げた状態にして油量ゲージの中心上に油量があるか点検してください。またオイル漏れのないことを確認してください。

1-3

### 燃料の点検



危険



- ・燃料が不足していたら無鉛ガソリンを補給してください。
- ・燃料の補給時は火気厳禁です。補給は屋外でエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。すべての裸火やタバコを消してください。
- ・給油の際入れ過ぎないこと。燃料タンク容量は、15dm<sup>3</sup>(L)です。こぼれた燃料はきれいに拭取ってください。
- ・機械は常にきれいに保ち、ゴミ、ホコリの堆積やグリース、オイルの付着がないようにしてください。

1-4

### 各摺動部の注油・グリースアップ

各摺動部には、常に錆びないように注油してください。

各部グリースニップルへ定期的にグリースアップをしてください。グリースニップルにグリース（エクセライトEPN02）を定期的に各々約1g（手動式小型グリースポンプにて1~2回）グリースアップをしてください。

1-5

### ブレーキの点検



危険

サイドブレーキおよびミッションブレーキの点検をしてください。ブレーキワイヤが伸びているときは、アジャストボルトで調節してください。

[重要] …ブレーキは安全作業上大切なものですので、20ページの「**7-8** サイドブレーキ、**7-9** ミッションブレーキ」をお読みください。

1-6

### タイン・シュウドウ板の点検



危険



- 1) タインの緩み  
作業中にタインが外れないように増締めを行ってください。
- 2) タイン・シュウドウ板の減り具合  
すり減ったり傷んだりしている場合は必ず交換してください。

## 1-7 Vベルトの点検



エンジンが停止しているのを確認し、各ベルト中央を指で押えて張り具合を点検してください。



また、亀裂・損傷・異常摩耗等がないか調べてください。

## 1-8 クランク部チェンの点検



チェンの中央を指で押えて張り具合を点検してください。

チェンが緩みすぎると、タイミングがくるうことがありますので最適な張りを保ってください。

## 1-9 タイヤの点検

タイヤの空気圧が適性であるか点検してください。

前輪 100kPa (1kgf/cm<sup>2</sup>)・後輪140kPa (1.4kgf/cm<sup>2</sup>)が適当です。

また、亀裂・損傷・異常摩耗等がないか点検してください。

## 2. 各部の締付

本機の各部にはボルト止めが多く使われています。使い始めのうちは、使用するとボルト・ナット等に緩みが出る場合がありますので各部を点検し、増締めをしてください。

適正締付トルクN・m (kgf・cm)

	普通ボルト	調質ボルト
M6	7~9 (70~90)	14~18 (140~180)
M8	14~19 (140~190)	28~38 (280~380)
M10	29~38 (290~380)	58~76 (580~760)
M12	52~67 (520~670)	104~103 (1040~1030)
M14	70~94 (700~940)	140~188 (1400~1880)

## 3. エンジンの始動・停止方法



◆室内でエンジンを運転するときは、窓や戸を開けて、換気を十分に行ってください。換気が悪いと、排気ガス中毒を起こし大変危険です。

◆エンジンを始動するときは、必ず座席に座って、チェンジレバー（変速レバー）やその他レバー類の位置と、周囲の安全を確認してから行ってください。これを怠ると急発進したりして大変危険です。

### 3-1 エンジン始動について

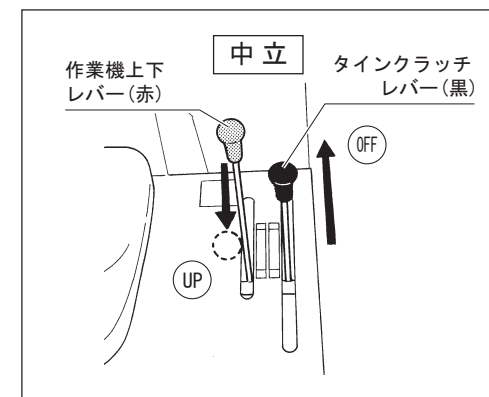
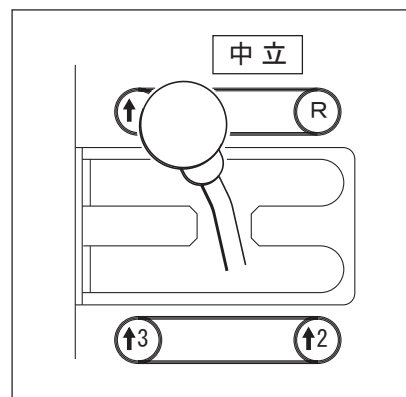


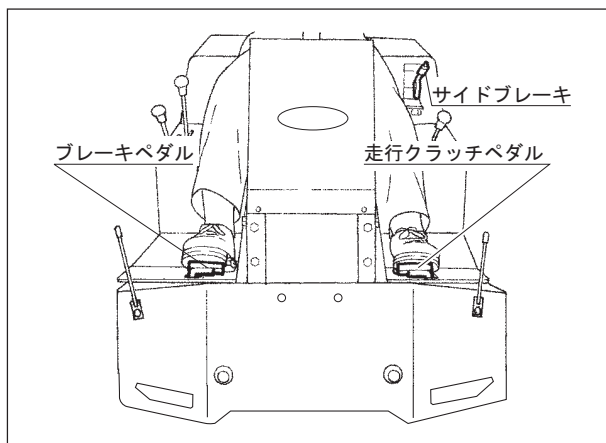
- 1) エンジン始動前にエンジン取扱説明書を読み十分理解してください。
- 2) カバー類が正しい位置にあって損傷していないか、機械の周囲に人がいないか、安全を確認してからキーを回しエンジンを始動してください。
- 3) 適切な換気装置のない建物内では、エンジンを始動しないでください。



### 3-2 エンジン始動

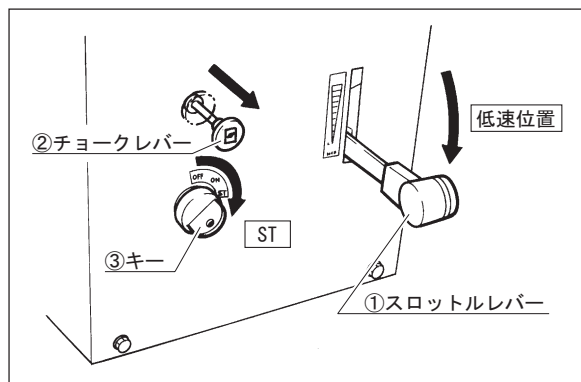
・サイドブレーキをかけ、各レバーがOFF（中立）になっていることを確認してください。





- ・ブレーキペダルと走行クラッチペダルをしっかりと踏み込みます。  
(走行クラッチペダルにはセーフティスイッチがついています。)

- 1) スロットルレバーを低速位置にします。
- 2) チョークレバーを引いて全閉にします。(一度暖まったエンジンの再始動は全開もしくは半開にします)
- 3) キーを差込み、キーを回してエンジンを始動させます。  
キーを右に1段ひねると運転位置 (ON) となり、2段目で始動位置 (ST) となりセルモータが始動します。  
エンジンが始動したらキーから手を離します。キーは自動的に運転位置 (ON) に戻ります。

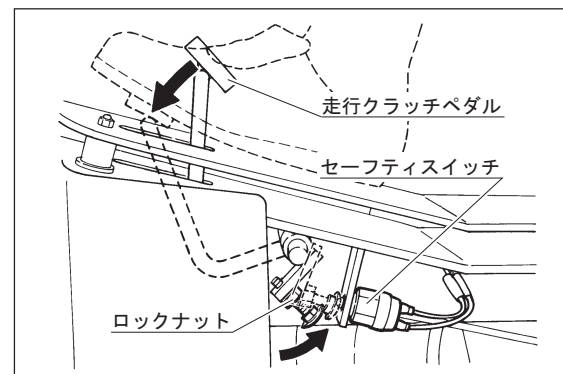


- 4) エンジン始動後、チョークレバーをゆっくり全開の位置に戻し、負荷をかけずに約5分間低速で暖気運転をします。

[重要] …サイドブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキを傷めます。

▲ 注意

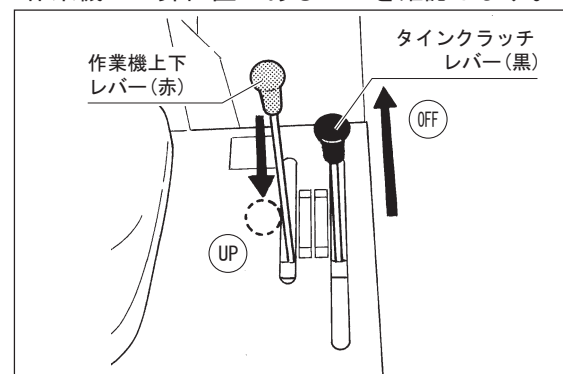
- ◆ エンジンがかかっているときにキーを回さないでください。  
また再始動には、フライホイールが止まっていることを確認してください。セルモータが回りピニオンギヤを破損させます。
- ◆ 走行クラッチペダルにはセーフティスイッチがついていますので、ペダルを上げた状態ではエンジンがかかりません。走行クラッチペダルを踏込んだ状態でもエンジンがかからない場合は、セーフティスイッチを調節してください。  
調節はロックナットを緩め、走行クラッチペダルを踏んだとき、丸頭ボルトがセーフティスイッチにあたるようにします。



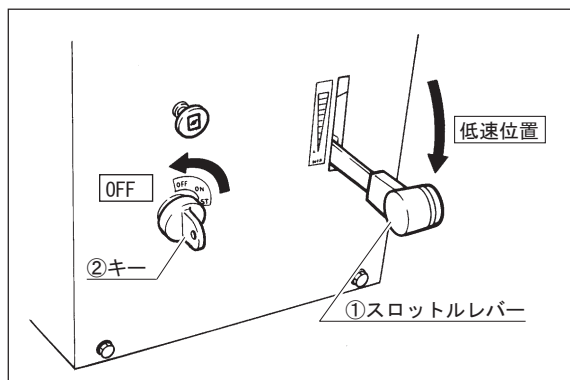
3-3

エンジン停止

- ・作業機上下レバーを『UP』にしタインクラッチレバーが『OFF』で作業機が上昇位置にあることを確認します。



- 1) スロットルレバーを低速位置まで戻します。
- 2) キーを左に回してOFFにし、キーを抜きます。



#### 注意



- ◆ 駐車時、停車時には必ずサイドブレーキを確実にかけてください。これを怠ると本機が自然に動き出したりして大変危険です。
- ◆ エンジンを停止して、エンジン周辺部にふれる場合は、高温ですのでやけどに注意してください。
- ◆ エンジンを停止したら必ず、キーを抜いてください。
- ◆ チョークレバーを引いて、エンジンを停止させないでください。バックファイアが発生したり、エンジンを損傷することがあります。
- ◆ 機械を運搬するときは、必ず燃料コックを閉じてください。

### 3-4 機械を離れるときの注意

#### 警告

機械を水平な状態に駐車し、エンジンを切り、全ての可動部分が停止している事を確認し、サイドブレーキをかけ、キーを抜いてから機械を離れてください。傾斜地での駐車は絶対にしないでください。これを守らないと傾斜地などで本機が動き出し事故の原因となり大変危険です。

## 4. 各操作方法

### 4-1 走行のしかた

- 1) 作業機が上昇していることを確認します。
- 2) 走行クラッチペダルとブレーキペダルを踏みます。
- 3) チェンジレバー（変速レバー）を必要な位置に入れます。（P12 チェンジレバー（変速レバー）について参照）
- 4) サイドブレーキレバーとブレーキペダルを解除してから走行クラッチペダルをゆっくりつないで走行します。

#### ■ 走行クラッチペダル

ペダルを踏込む……………クラッチが切れます。

ペダルから足を離す……………クラッチがつながります。

- [重要] …
- 走行クラッチペダルをいっぱい踏込み、クラッチを「切」にしないとエンジンは始動しません。
  - 走行クラッチペダルは切るときは早く、つなぐときはゆっくりと操作してください。
  - 作業中は走行クラッチペダルに足を乗せたままにしないでください。Vベルトの寿命が短くなります。

#### 危険



- ◆ 第3速での走行移動は、車体が不安定のため横転の危険が非常に高いので、平坦かつ見通しの良い広い道での移動以外には使用しないこと。特に傾斜地の下りは、エンジnbrakeのききが悪くなりますので第2速または第1速で低速走行すること。
- ◆ 坂道では、旋回をしないこと。転倒事故の原因になり大変危険です。
- ◆ 坂の状況に応じた安全な速さで走行すること。過度の速さは、思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ◆ 坂の途中では、クラッチを切ったり、チェンジレバー（変速レバー）を中立にしないこと。また下り坂では、エンジnbrakeを使用し、足ブレーキの多用はしないこと。これを怠るとスリップや転倒事故の原因になり大変危険です。



- ◆ 2速・3速のような高速走行をされる場合は、スロットルレバーを低い位置から出発して、ゆっくりエンジン回転速度を上げるようにして安全運転には十分注意してください。
- ◆ 走行中は変速をしないでください。必ず本機が完全に停止してから変速してください。走行中に変速を行うと、ミッションが損傷する危険があります。
- ◆ 運転席以外のところには乗らないでください。
- ◆ 子供等を乗せないでください。
- ◆ 急斜面等、転倒の危険がある場所では運転しないでください。
- ◆ 乗用での公道走行はできません。

■ チェンジレバー（変速レバー）について

「前進第1速」「前進第2速」「前進第3速」「後進第1速」の4段変速ができます。  
 [重要] …変速のレバー操作は、走行クラッチペダルを踏み、本機が完全に停止してから操作してください。走行中に変速するとミッションの損傷につながります。

チェンジレバー（変速レバー）の位置	変速	速さ	参考
	前進第1速 (作業速さ)	1.5km/h	作業中または低速移動時、特に急な坂道の下りの場合、使用します。
	前進第2速	3.0km/h	中速での移動または少し急な坂道の下りの場合、使用します。
	前進第3速	7.6km/h	平坦かつ見通しの良い広い道での高速移動の場合のみ使用します。 (エンジンプレーキのききは悪くなります。)
	後進第1速	1.0km/h	後進での移動の場合、使用します。

## 4-2 クランク部の回転のしかた（手動時）

※手動/自動の切替えは「7-18 タインクラッチ」に記載していません。

- 1) 作業機が上昇の位置にあることを確認します。
- 2) タインクラッチレバーを『ON』にするとクランク部は回転し、『OFF』にするとクランク部は停止します。

**危険**



◆回転部あるいはティン上下運動部等、危険な箇所には不用意に手足を近づけないでください。

## 4-3 作業機の昇降のしかた

- 1) 作業機の上昇

作業機上下レバーを『UP』にすると上昇します。

なお、作業機を上昇させる際には、作業機が最高位置に達するまでレバーを保持し、最高位置に達したら素早くレバーから手を離してください。

- 2) 作業機の下降

作業機上下レバーを『DOWN』にすると下降します。

作業機を下降させる際には、作業機が最下位置に達してから約3秒間レバーを保持したあと手を離してください。

この約3秒間というのは、作業機をアンジュレーションに対応させるためのシリンダスプリングボックス作動時間です。

## 4-4 穴あけの深さ調節（穴の状態を調節）

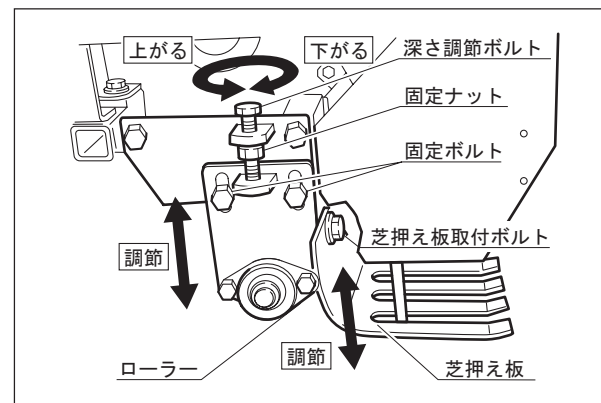
ローラーと芝押え板の調節をすることにより、穴あけの深さ（作業機の高さ）を任意に調節することができます。

ただし、この調節により地面突入角度が変化するため、穴の状態が悪くなる場合があります。

**警告**



◆作業中は危険ですので、穴あけの深さ調節をしないでください。



- 1) ローラーの調節

- ① 固定ナット・ボルトを緩めます。
- ② 深さ調節ボルトを回し、穴あけの深さ（作業機の高さ）調節を行います。
  - ・ボルトを時計回りさせるとローラーが下がります。（作業機が上がる）
  - ・ボルトを反時計回りさせるとローラーが上がります。（作業機が下がる）
- ③ 固定ナット・ボルトを締める。

**注意**

◆ローラーを調節する場合、芝押え板の取付ボルトを少し緩めて芝押え板をフリーな状態にしてください。

- 2) 芝押え板の調節

ローラーの高さに合わせて芝押え板を調節します。

## 5. 作業方法

### 5-1 作業方法

作業方法は往復作業と廻り作業とがありますが、一般に往復作業が行われています。廻り作業の場合クランクに余分な力が働き故障しやすくなります。機械の性能からも往復作業の方が適しています。

### 5-2 作業時の操作方法



注意

◆エンジンの最高回転速度は工場出荷時、2600±100rpmに抑えてあります。それ以上回転を上げて作業すると、フレームに負荷がかかり破損する恐れがあります。絶対に回転速度を上げる改造はしないでください。

#### 1) 作業開始（手動時）

作業の開始は走行クラッチペダル→タインクラッチレバーの順（または同時）に『0 N』にし、その後直ちに作業機上下レバーを『DOWN』の位置にして作業機を下降させ作業を行います。

[重要] … タインクラッチを自動にした場合は、作業機上下レバーを『DOWN』の位置にすると、作業機が下降して自動的にタインクラッチが入ります。（7-18 タインクラッチ参照）

#### 2) 作業速さとエンジンの回転速度

作業時は必ず前進第1速（作業速）、エンジン回転速度は高回転状態で作業してください。



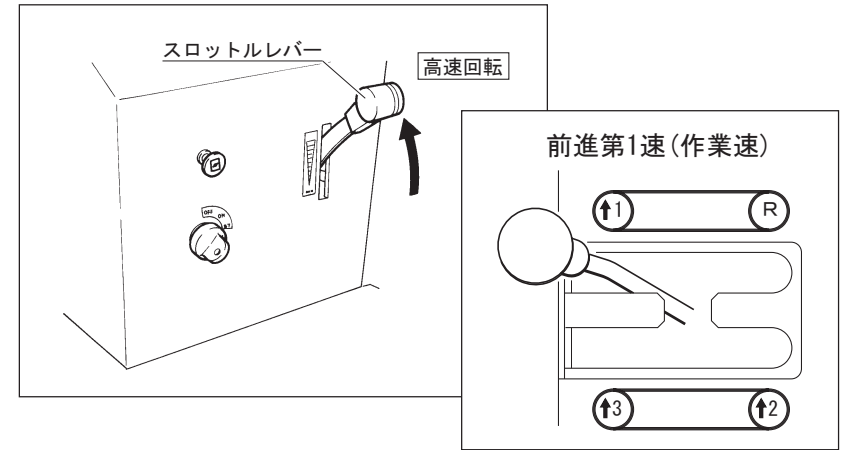
警告

急発進を防止するため、急激なクラッチ操作は行わないでください。

#### 3) 作業終了（手動時）

作業終了時は、まず作業機上下レバーを『UP』の位置にして作業機を上昇させてから、タインクラッチレバー→走行クラッチペダルの順（または同時）に『OFF』にしてください。

[重要] … タインクラッチを自動にした場合は、作業機上下レバーを『UP』の位置にすると、作業機が上昇して自動的にタインクラッチが切れます。（7-18 タインクラッチ参照）



注意

◆作業走行時、作業機を上昇させる前にタインクラッチを『OFF』にしないでください。走行中にタインクランクの回転が停止するため、タインが地面に刺さったまま走行することにより、タインを引きずる状態になり、芝を傷めます。

### 5-3



危険

### 走行・作業時の横転

- ・本機は作業時の旋回性能を高めるため、3輪仕様になっています。このため通常の4輪車のような走行をすると横転する危険があります。特に斜面での旋回は横転しやすいので傾斜角度の緩い所で行うこと。
- ・本機はグリーン用管理機械ですので20°以上の傾斜地での使用は横転の危険が非常に高いので使用しないでください。
- ・凹凸の激しい斜面では、転倒する恐れがありますので、使用しないでください。
- ・濡れた斜面では、スリップして転倒する恐れがありますので、使用しないでください。
- ・坂道では、旋回をしないこと。転倒事故の原因になり大変危険です。
- ・坂の状況に応じた安全な速さで走行すること。過度の速さは思わぬ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- ・坂の途中では、クラッチを切ったり、チェンジレバー（変速レバー）を中立にしないこと。また下り坂では、エンジブレーキを使用し、足ブレーキの多用はしないこと。これを怠るとスリップや転倒事故の原因になり大変危険です。

#### 1) 傾斜地の走行・作業について

◆10°以上の傾斜地で使用の際は、下記事項を必ず守ること。

- ① 10°以上の傾斜地では、無理な走行・作業は控え、20°以上の傾斜地での走行・作業は、横転の危険が非常に高いので行わないこと。
- ② 第3速での走行移動は、車体が不安定のため横転の危険が非常に高いので、平坦かつ見通しの良い広い道での移動以外には使用しないこと。特に傾斜地の下りは、エンジブレーキの効きが悪くなるので第2速または第1速で低速走行すること。
- ③ 傾斜地では、走行前に穴・岩石・木の根・（その他不法投棄物等）を確認してから、十分気をつけて走行すること。
- ④ 傾斜地での走行は、斜面の下方⇄上方に向かって走行すること。
- ⑤ 下り坂ではエンジブレーキを使用すること。ブレーキペダルを踏むだけで下るのは危険です。



#### 2) バンカー付近の作業について

- ① バンカー付近で作業するときは、バンカーと芝の段差による落下横転に注意して走行すること。特に後進時には十分注意して走行すること。
- ② その他、池・断崖等の付近の走行時も同様に十分注意して走行すること。

#### 3) その他

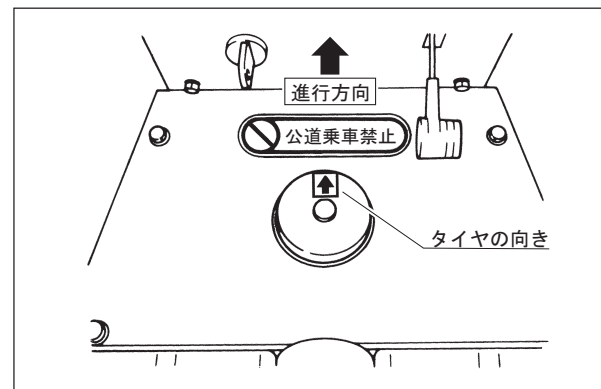
- ① 坂を上る場合は、重心が後ろになり前輪が浮き上がるために、ハンドルを操作しても方向が定まらず危険ですから、低速で注意して移動すること。
- ② 走行中は、変速をしないでください。必ず停止して変速してください。走行中に変速を行うと、ミッションが損傷する危険があります。

### 5-4



#### 発進時における前輪の向き

発進時は必ず、前輪の向きを確認してください。発進時に前輪が進行方向へ向いていないと、思わぬ方向へ進んでしまい事故を起こす原因になります。前輪の向きの確認は、ハンドル手前の矢印で行ってください。



## 6. 点検整備



- ・作業機の下へもぐったり、足を踏入れたりしないでください。
- ・交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、本機に輪止めをして行ってください。
- ・点検・整備・修理・掃除をする場合は必ず本機の駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止してキーを抜いてください。タインクラッチレバーを「OFF」位置にし、回転部が完全に停止してから行ってください。
- また、室内および換気の悪い場所では、エンジンをかけないでください。排気ガスは有害な一酸化炭素が含まれています。



### 6-1



- 次の箇所を点検し、不具合のある場合は速やかに処置してください。
- ・全てのカバー類が、所定の位置にきちんと取付けられているか。また、各部に損傷や欠落がないか確認してください。
  - ・タインの取付け、取外しなどでタインを持つときは、厚手の手袋を使用してください。



- ・各タインの状態と取付けボルトの緩みがないかよく調べてください。タインの固定に緩みがあったり損傷があると、タイヤが折れたり飛散する恐れがあります。緩んでいるときは、確実に締付けを行ってください。
- ・注意マークや説明文は常にきれいに保ち、無くなったり、損傷がある場合は、すぐに新しいものに取替えてください。
- ・ボルト・ナット類が緩んでないかよく調べてください。緩んでいるときは、確実に締付けを行ってください。

## 6-2

### メンテナンスの注意



- ・実施するメンテナンスを熟知してください。
- ・メンテナンスは、水平で乾燥したきれいな場所で実施してください。
- ・必ず、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、キーを抜いてから作業を行ってください。
- ・駆動・作動部分には手足を近づけないでください。
- ・全ての駆動を断ち各コントロールを操作して圧力を解除してください。
- ・全部品は、良い状態で正しく取付けてください。
- ・損傷部品は直ちに修理・交換してください。
- ・摩耗・損傷部品は、交換してください。
- ・機械は改造はしないでください。整備上の必要部品は、安全確保のために純正部品を使用してください。
- ・ゴミやグリース、オイルの付着は、取除いてください。
- ・電気系統のメンテナンスをする前には、バッテリーのマイナス（-）配線を外してください。
- ・機体を上げたまま作業するときは、確実なサポートを設けてください。
- ・廃油、部品交換等で不要になった部品などの破棄については、各地域の法律に従ってください。



## 6-3

### マフラ・エンジンの注意



- ・運転中やエンジン停止直後のマフラ・エンジンは非常に高温です。
- ・手や足および燃えやすいものを近づけないこと。やけど又は火災の原因になります。



## 6-4

### 高圧オイルによる被害の防止



- ・高圧オイルが皮膚に吹付けられると、重大な損傷が起きます。
- ・高圧ライン・ホース・継手を外す前に圧力を逃がしてください。
- ・運転を始める前に、全ての継手の締め具合を確認してください。
- ・漏れの点検には、小さな厚紙を使ってください。もし、高圧オイルが皮膚に吹付けられたら 2~3時間以内に医師の手当を受けなければなりません。

## 6-5

### その他

- ・メンテナンス等に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。
- ・P15 6.点検整備の注意事項を守ってください。

## 6-6

### 燃料取扱い上の注意



- ・燃料補給時は、火気厳禁です。すべての裸火やタバコを消してください。
- ・補給は屋外で、エンジンを停止しエンジンを冷やしてから行ってください。
- ・火災を防ぐため、機械は常にきれいに保ちゴミの堆積、グリース・オイルの付着がないようにしてください。
- ・こぼれた燃料は、きれいに拭取ってください。

## 6-7

### 2人作業時の注意



- 2人以上でメンテナンス作業を行うときは必ず、互いに合図をとりながら作業してください。

## 6-8

### エンジンについて



- エンジンの取扱いについては、エンジン取扱説明書を参照してください。また出荷時のエンジン最高回転速度は2600±100rpmに設定されており、それ以上に回転速度を上げると異常振動が発生し、本機が破損する恐れがあります。

## 6-9 バッテリについて



バッテリーの取扱いについては、バッテリー取扱説明書を参照してください。



## 7. 各部の点検

### 7-1 エンジンオイル



オイル交換は数多くするほど本機の寿命をながくします。  
詳しくはエンジン取扱説明書を参照してください。

#### 1) エンジンオイル

常に良質できれいなオイルが規定量に保たれるようにしてください。

オイル交換	1回目	8時間
	2回目より	50時間毎
粘 度	夏 期	SAE30
	冬 期	SAE20
オ イ ル 量	通常約 1.0~1.2dm <sup>3</sup> (L)・乾燥時 (フィルタ交換時) 約1.6dm <sup>3</sup> (L)	



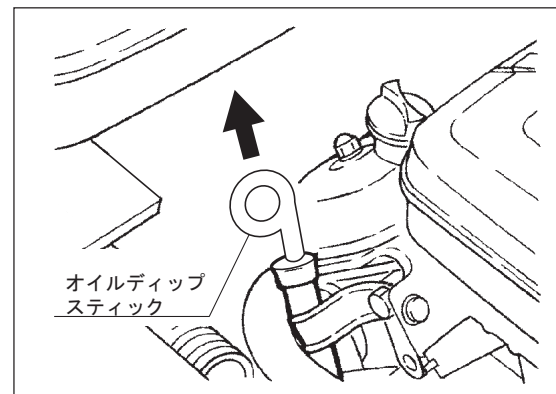
◆オイル交換した後、必ず油面が上限と下限の間にあるか確認してください。

#### 2) エンジンオイルの点検

- ・オイルディップスティックを抜き、先端をきれいに拭取り、それを給油口へ差込んでキャップを確実に差込み、再び引き抜いて点検します。
- ・油面が上限と下限の間にあるか確認してください。もし、不足していたら補給してください。



◆オイルディップスティックはオイルフィラの曲がりに合わせ挿入し、オイルディップスティックキャップ、オイル注入プラグは確実にねじ込んでください。締めが不十分な場合クランクケース内の負圧が保たれず、エアクリーナへのオイル上がりを起こします。



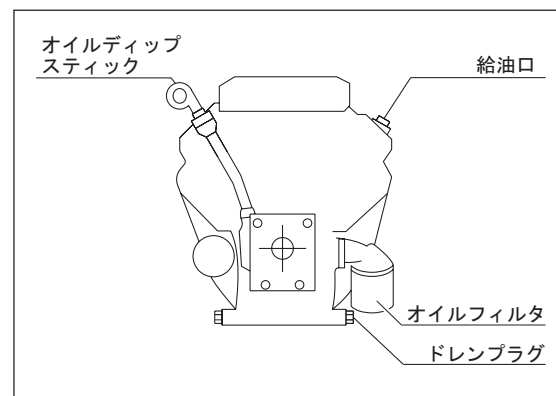
#### 3) エンジンオイルの交換



◆熱いオイルが皮膚に付くと火傷をする恐れがありますので、十分注意してください。

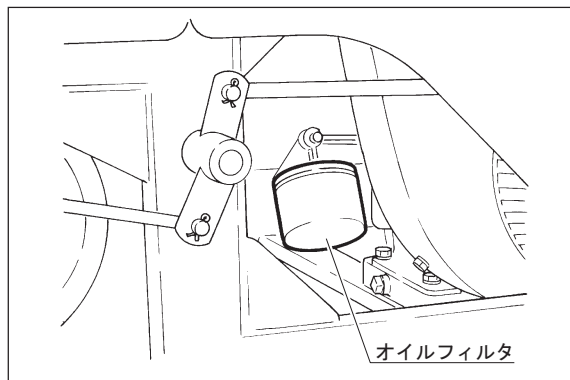


オイル交換はエンジンを停止し暖まっているとき、ドレンプラグを外して抜きます。



## 7-2 オイルフィルタ

100 時間運転毎、もしくはシーズン毎のいずれか早い時期に交換してください。

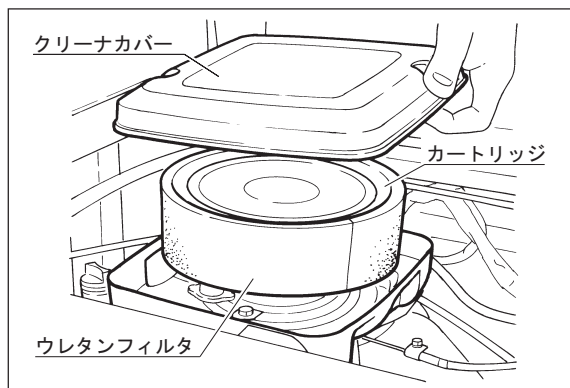


## 7-3 エアクリーナ



詳しくはエンジン取扱説明書を参照してください。

- ・エアクリーナは、空気中の塵埃を取除き、きれいな空気を供給するために重要な部分であり、内部の汚れがひどくなるとエンジン不調を起しエンジン寿命を極端に短くします。
- ・クリーナカバーを取外し、ウレタンフィルタとカートリッジの部分を分離させて清掃してください。



### 1) ウレタンフィルタの清掃

- ① せっけん水できれいに洗い、絞ってからよく乾燥させます。
- ② エンジンオイルを適当にしみ込ませてからカートリッジに取付けます。

### 2) カートリッジの清掃

- ① カートリッジを取外し、平らな場所で軽くたたいてホコリを落としてください。
- ② 汚れがひどい場合は、交換してください。



注意

カートリッジを劣化させますので、つぎの事柄はしないこと。

- ◆ 化学洗剤や灯油等でカートリッジを洗浄しないでください。
- ◆ カートリッジにオイルを含ませないでください。
- ◆ 高圧エアーをかけて乾燥させないでください。

## 7-4

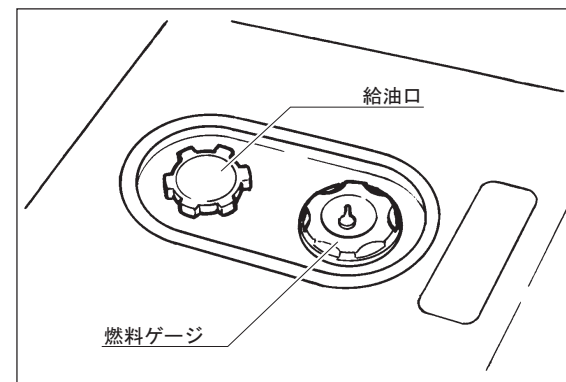
## 燃料



危険



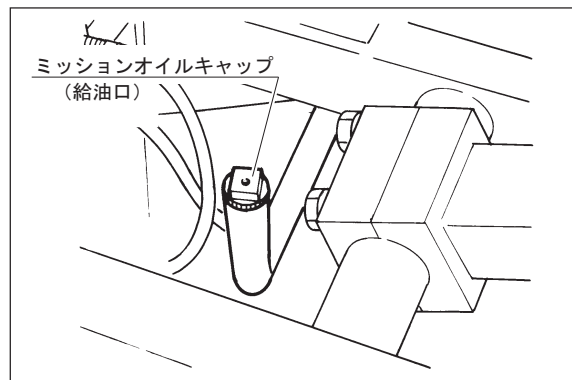
- ・燃料の補給時は火気厳禁です。すべての裸火やタバコを消してください。
- ・燃料が不足していたら無鉛ガソリンを補給してください。
- ・給油の際、入過ぎないこと。燃料タンク容量は、15dm<sup>3</sup>(L)です。



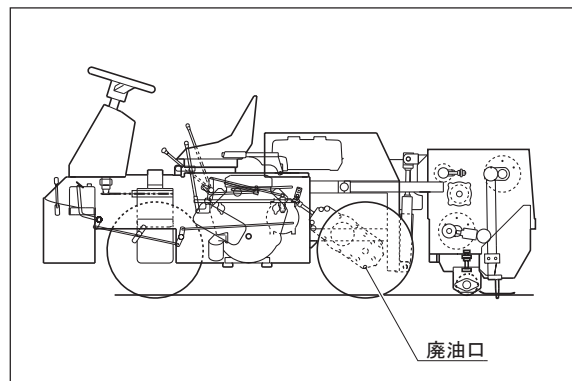
## 7-5 ミッションオイル

自動車用ギヤオイル90番が約2.3dm<sup>3</sup>(L)入っております。  
第1回目の交換は50時間使用後に全量取替えてください。その後は  
300時間毎に取替えてください。

### 《給油口》



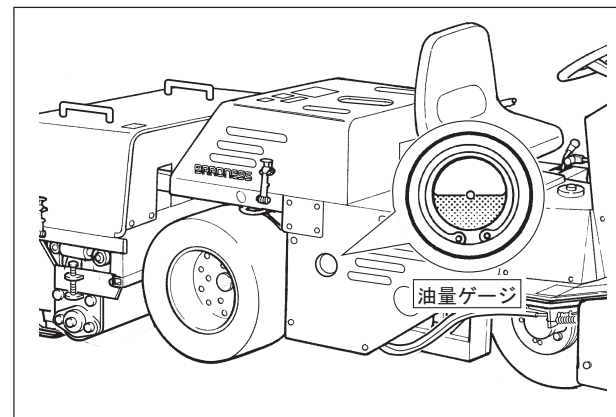
### 《廃油口》



## 7-6 油圧作動油

### 油圧作動油量の点検

機械を水平にし、作業機を上げた状態にして油量ゲージの中心上に油量があるか点検してください。またオイル漏れのないことを確認してください。



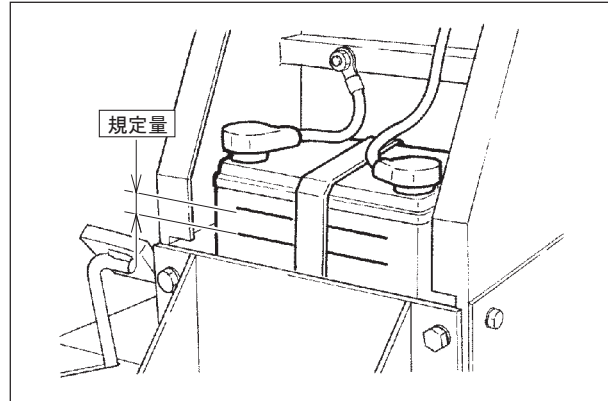
油圧ユニットには約1.7dm<sup>3</sup>(L)の作動油が入っています。不足している場合は、補給してください。作動油の交換は、初回100時間、以降は500時間又は一年間で交換してください。また、作動油が乳化および透明度が悪くなった場合は、即時交換してください。(油圧作動油は、シェルテラス46又は相当品を使用してください。)

7-7

## バッテリー液



バッテリーに付属のバッテリー取扱説明書を参照してください。  
バッテリー液は蒸発して減少します。不足しているときは規定量まで蒸留水を補給してください。



**危険**



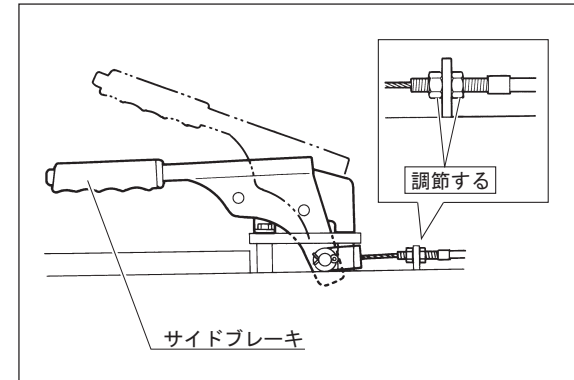
- ◆バッテリーの点検や充電時は火気厳禁です。また、バッテリー液は希硫酸ですので身体や車体に付けないでください。もし付着した場合は直ちに水でよく洗い、特に目に入ったときや飲込んだ場合は、速やかに医師の治療を受けてください。
- ◆バッテリーからケーブルを外すときはマイナス側から外し、取付けるときはプラス側から取付けてください。逆にすると工具等が機体に接触した場合、ショートして火花が生ずる恐れがあります。
- ◆バッテリーケーブルを接続する時は、プラスとマイナスを間違えないようにしてください。もし間違えた場合、バッテリーや電装品を損傷させます。

7-8

## サイドブレーキ



サイドブレーキワイヤが伸びたら、ワイヤの両端に付いているアジャストボルトを調節してワイヤを張ってください。



7-9

## ミッションブレーキ

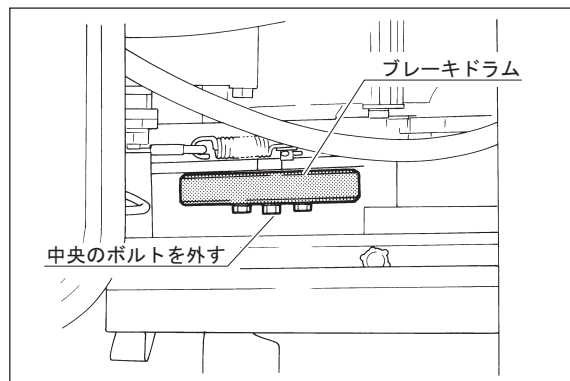


- ◆各ブレーキシュー交換・ブレーキワイヤ交換は200時間毎とありますが、使用状態により大きく変わります。200時間はあくまでも目安ですので、ブレーキ関係は実際に使用してみて判断してください。
- ◆ブレーキワイヤは切れると停止不能となりますので、始動前には必ず点検し亀裂・損傷等の現象が見られたらすぐに交換すること。
- ◆ブレーキワイヤを調節しても、ブレーキがきかない場合は、使用中止してブレーキシューを交換すること。
- ◆ブレーキシュー交換またはブレーキワイヤを交換・調節した場合は、必ず水平な場所で試運転して確実にブレーキがきく状態にすること。特に車軸ブレーキ左右のバランスに注意してブレーキの調整を行うこと。調整をしないと、ブレーキが片ぎきになり傷害事故を引き起こすおそれがあります。

### 1) ミッション部ブレーキシューの交換

(パーツカタログ 6. ミッションケース参照)

ブレーキシューの交換は200時間毎に行ってください。  
ブレーキドラムを固定している中央のボルトを外してブレーキシューを交換します。



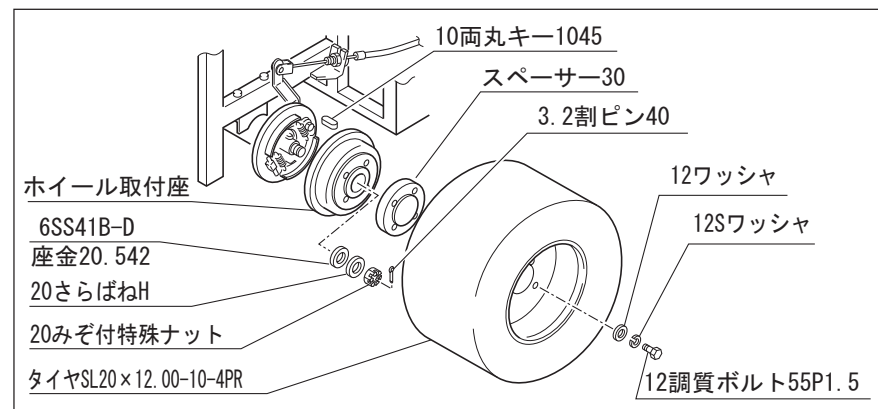
### 2) ミッション車軸ブレーキシューの交換

(パーツカタログ 5. ミッション&後輪参照)

- ・車軸ブレーキシューの交換は200時間毎に行ってください。
- ・片ぎき防止のため、交換は左右の車軸ブレーキシューを同時に行ってください。
- ・同時にブレーキワイヤの交換もしてください。
- ・割ピンは新品にして、各部品も点検し損傷などがあれば部品交換をしてください。

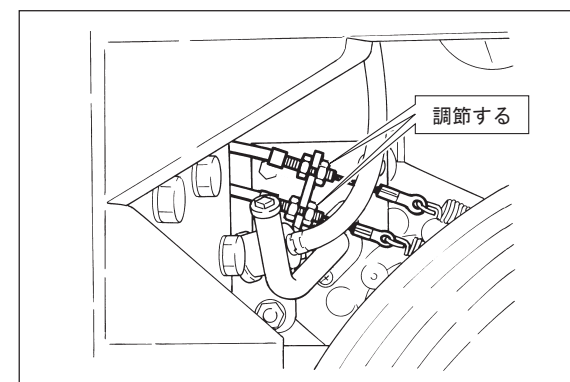
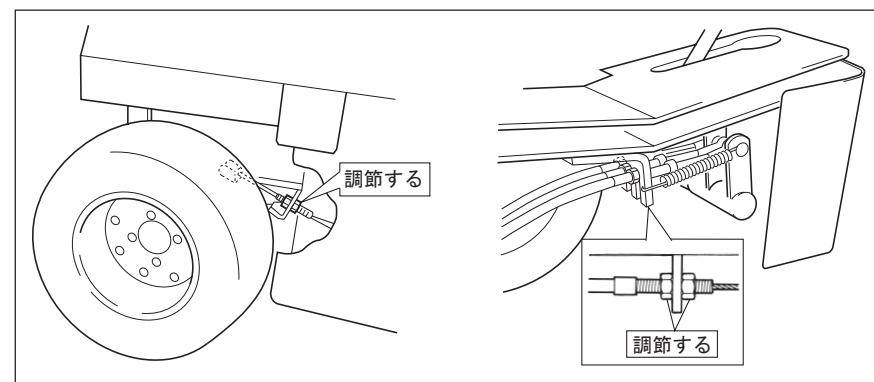
交換方法 (右車軸ブレーキシューの例)

- ① 「12調質ボルト55 P1.5」を外して、図の様に各部品を外し、ブレーキシューを新品に交換してください。
  - ② ブレーキシューを交換したあと、各部品を点検して損傷などがあれば必ず部品交換してください。ブレーキ関係の部品は重要です。
  - ③ 図を参考に、各部品を組み付けて、ナット・ボルト類はしっかり締付けてください。割ピンも必ず取付けてください。
- ※・左車軸ブレーキシューの交換も同時に行ってください。  
・左右ブレーキワイヤを調節して、ブレーキの片ぎきのないようにしてください。



### 3) 各ブレーキワイヤの調節

各ブレーキワイヤが伸びたら、ワイヤの両端に付いているアジャストボルトを調節してワイヤを張ってください。



## 7-10 ステアリングチェン

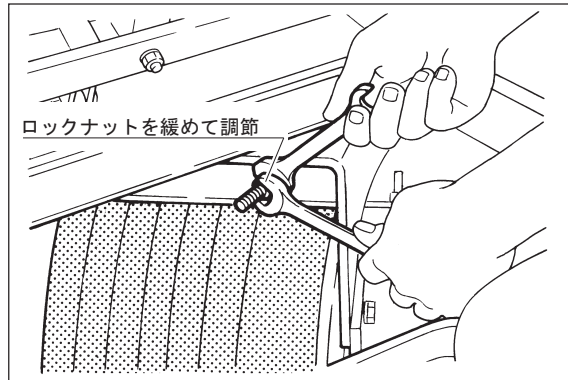


危険

- ◆確実にロックナットを締付けること。
- ◆ステアリングチェンが切れるとハンドルがきかず、大変危険ですので損傷が見られたらすぐに交換すること。



ステアリングチェンに緩みがある場合は、チェン両端（前輪後部）に付いているロックナットを緩めチェンの張りを調節してください。通常5mm程度チェンがたわむように調節してください。

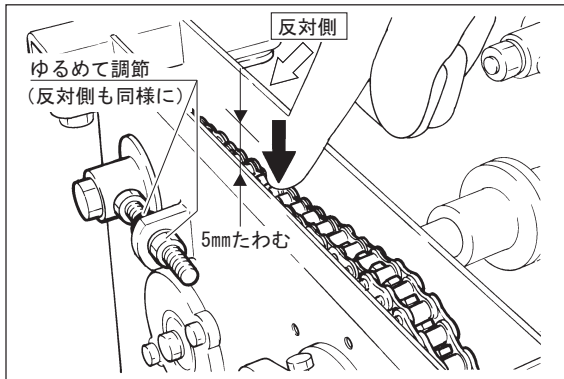


## 7-11 クランク駆動用チェン



### 1) チェンの調節

チェンの中央を指で押え、張り具合を点検します。通常5mm程度チェンがたわむように調節してください。緩い場合は、スプロケットの両側のアジャストボルトでチェンの張りを調節します。



### 2) チェンの交換について

クランク駆動用チェンが伸び過ぎて、チェン張りでチェンを張ることが出来なくなった場合は、早めにチェンの交換をしてください。上下クランクのタイミング関係に異常をきたし、振動発生および各部の摩耗を早め、また穴あけ状態も悪くなります。なお、チェンの交換は3本同時に行ってください。

交換は下記の要領で行ってください。（P32～P34の図A～G参照）

- ① タインフレームのカバーを外します。
- ② 左右の伝導軸連結ボルトを外します。（図F）
- ③ チェン張りスプロケットにて、チェンを最大限緩めます。（図A）
- ④ ジョイント部分がフレーム上部までくるようにクランクを回します。外したジョイント等をフレームの中へ落とさないよう注意してください。（図G）
- ⑤ 各タインフレームのチェンを外します。
- ⑥ 新しいチェンを各タインフレームごとにセットします。チェンの先端に針金を付け、チェンを案内します。（図G）
- ⑦ 下クランク板と上クランク板とが、およそ同方向を向いている事を確認し、ジョイントでチェンを継ぎます。（図A～D）
- ⑧ 下クランクが図Aの方向になるようクランクを回し、下クランクのピン穴にピンを差込みます。
- ⑨ 上クランクも図Aのようになるよう、36Tスプロケットからチェンを浮かせながら、上クランクを回し、ピン穴にピンを差込みます。
- ⑩ 下クランク36Tスプロケットと、上クランク36Tスプロケットの間のチェンにたるみがないようにします。
- ⑪ チェン張りにてチェンを張り、各タインフレームの上クランクと下クランクが正常な位置になるかどうか確認します。（図A）ならない場合は再度、上記方法を繰り返してください。
- ⑫ 図EブロックNo. ①、③、⑤が図B, C, Dになるように合せます。
- ⑬ それぞれのピン穴にピンを差込み、クランクが下がらないよう固定します。
- ⑭ 左右の伝導連結用ボルトを差込み締付けます。その他緩めた箇所のボルトを締付けます。



注意

- ◆ 差込んだピンは必ず抜き、カバー類を取付けてください。

## 7-12 Vベルト

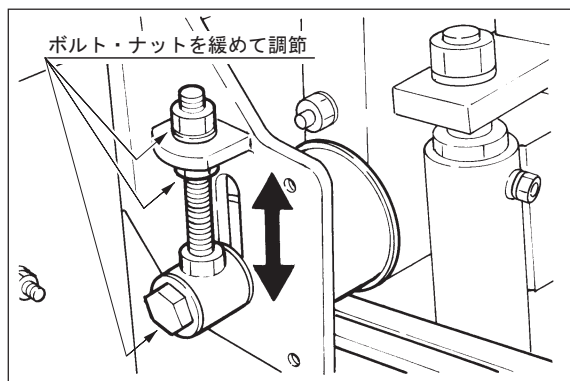
**注意**



ベルトの中央を指で押え、張り具合を点検します。  
また、亀裂・損傷・異常摩耗等があれば交換してください。

### 1) クランク伝導Vベルトの調節

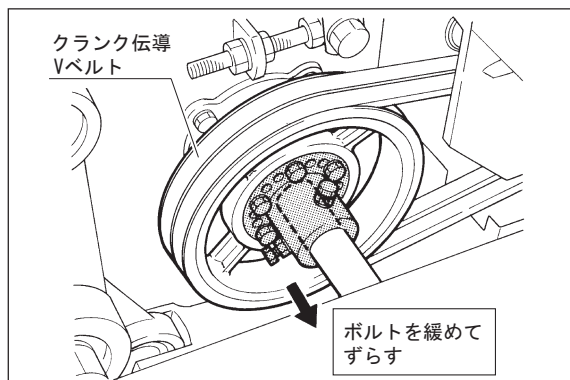
クランク伝導Vベルトは下図のようにテンショナーのアジャストボルトで張りを調節します。



**[重要]** … クランク伝導Vベルトの張りが弱いとベルトがすべり、穴あけの状態が悪くなります。

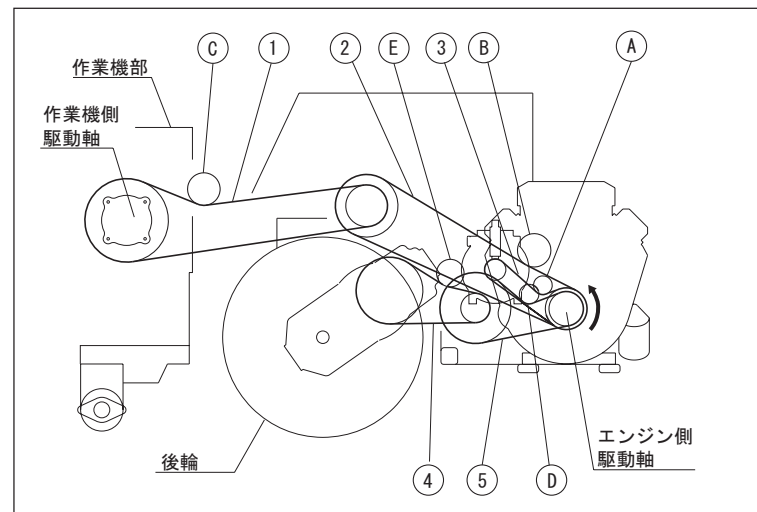
### 2) クランク伝導Vベルトの交換

クランク伝導Vベルトの交換は、クランク伝導軸の継ぎカラーを緩めずらし、プーリからVベルトを外して交換します。



### 3) その他のVベルト

その他のVベルトは、下図に示したA～Eの各テンショナーで張りの調節をします。(Cはクランク伝導Vベルト)



ベルト配置図 (本機右側からの視図)

番号	コード番号	部品名称
①	K2344064000	VベルトGLB64 A-4
②	K2343060000	VベルトGLB60
③	K2324029000	VベルトGLA29 A-4
④	K2380000110	ローエッジコグベルトOLB35
⑤	K2371800360	VベルトW8SB36

**注意**

◆ Vベルトは強度の関係上、上記のものを使用してください。

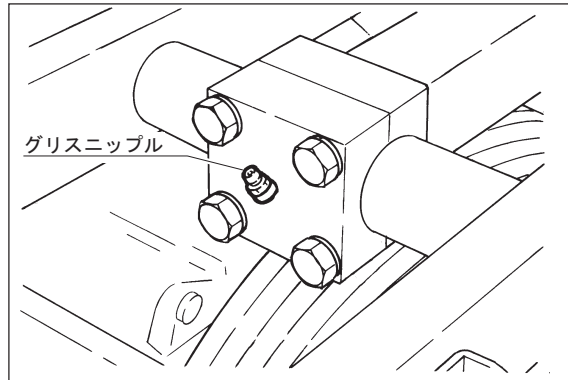
### 7-13 タイヤの空気圧

タイヤの空気圧が適性であるか点検します。  
前輪 100kPa ( 1kgf/cm<sup>2</sup> ) ・後輪140kPa ( 1.4kgf/cm<sup>2</sup> ) が適性です。また、亀裂、損傷、異常磨耗等がないか調べてください。

### 7-14 グリースアップ



各摺動部には、常に錆びないように注油してください。  
各部グリースニップルへ定期的にグリースアップをしてください。  
グリースニップルにグリース（エクセライトEPN02）を定期的に各々約1g（手動式小型グリースポンプにて1~2回）グリースアップをしてください。



◆スプリングボックスへのグリースアップは量は3gまでとしてください。それ以上注油すると、スプリングの動きに支障をきたし、芝生を引っかくおそれがあります。

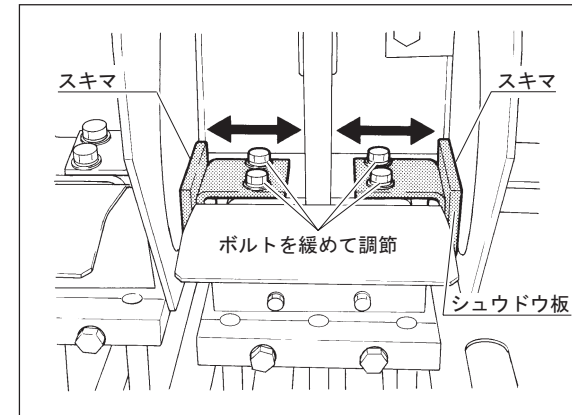
### 7-15 シュウドウ板



◆必ずエンジンを停止させ、キーを抜いてから作業を行うこと。

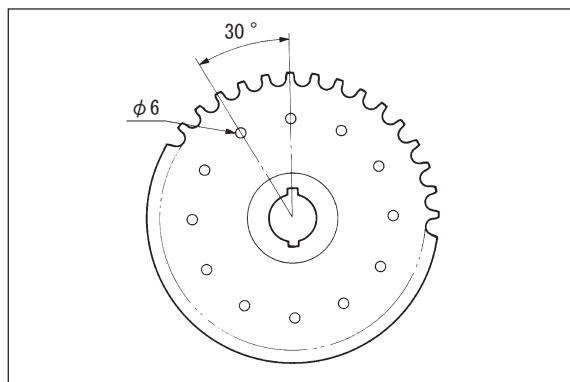


シュウドウ板はクランクの保護に大切な役目をしています。このシュウドウ板が摩耗するとタイン取付け部の左右にガタが出て横揺れが多くなり、タイン取付け部・ガイド板の摩耗を早めます。固定ボルトを緩めてスキマが片側 0.5~1.0mm ずつになるように調節します。また、クランク各部にも悪影響を与えますのでシュウドウ板が摩耗して厚みが 5mm 以下になった場合には、シュウドウ板を新品と交換してください。



## 7-16 タイミングについて (P32 13. クランクタイム部参照図)

タイミングは、(イ)『各タイムフレーム個々における上クランクと下クランクの位置関係(図A)』と(ロ)『各タイムフレーム間の回転順位関係(図E、図B、図C、図D)』の2項目があります。それぞれについて御購入時は、正位置に調節してあります。後日、修理の場合、特にこのタイミングに注意してください。なお、タイミング合せ時において各クランクの位置合せに便利のように、上下クランクの36ドスプロケットには30度ピッチで6mm径の穴が図のようになっています。



## 7-17 電気配線の点検

ターミナル部の緩み、接続不良、コード類の折れ、断線、外部との接触等は電気部品の性能を損なうだけでなく、ショート（短絡）、漏電または焼損など思わぬ事故になることもあります。老化して傷んだ配線は、早めに交換修理をしてください。

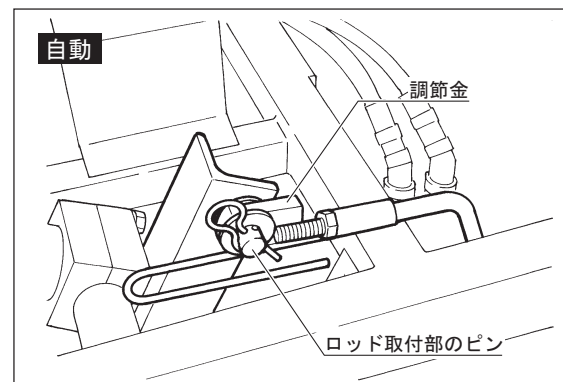


バッテリーについてはバッテリー取扱説明書を参照してください。

## 7-18 タインクラッチ

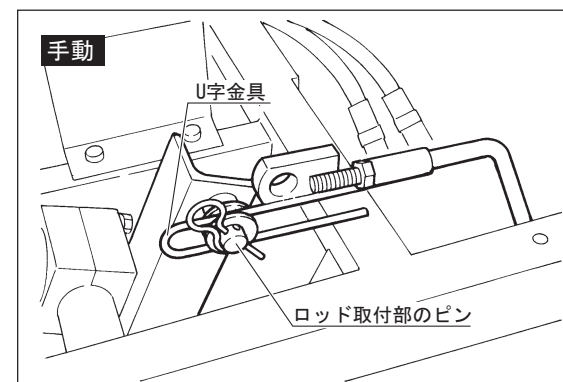
### 1) タインクラッチ操作を自動にする場合

タインクラッチ操作を『自動』にする場合はロッド取付部のピンを調節金の穴に通し、スナップピン（および16ワッシャ）でとめてください。



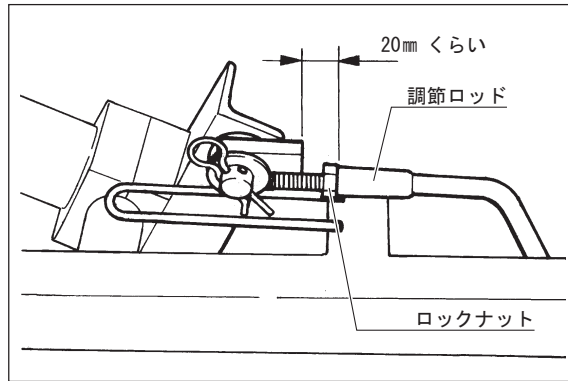
### 2) タインクラッチ操作を手動にする場合

タインクラッチ操作を『手動』にする場合はロッド取付部のピンを調節金のU字金具に掛け、スナップピン（および16ワッシャ）でとめてください。



### 3) 調節ロッドの長さの目安

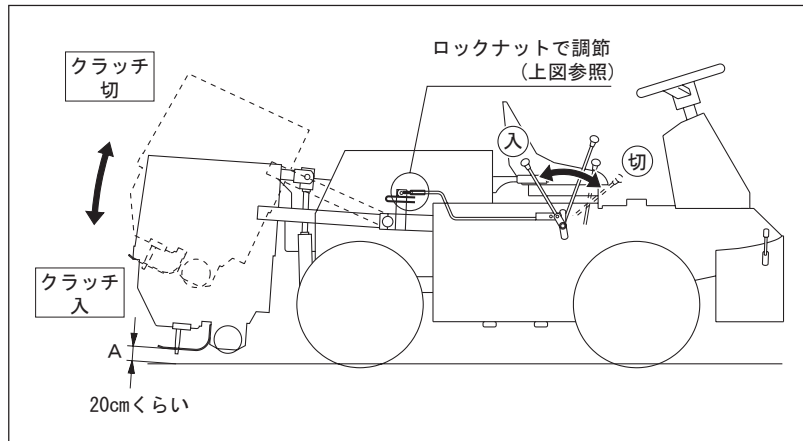
調節ロッドの長さの目安は『自動』『手動』とも、図のように20mmくらいになるようにロックナットで調節し固定してください。



[重要] … 20mmはあくまでも目安ですので、実際に使用してみて判断してください。

### 4) タインクラッチ操作が自動の場合

作業機がAのところまで下がったときには、タインクラッチが入るように調節ロッドの長さを微調節してください。



### ▲ 注意

調整ロッドの長さを調節した場合は必ず水平な場所でティンをはずした状態で試運転して、確実にティンクラッチの動作を確認してください。

### 7-19

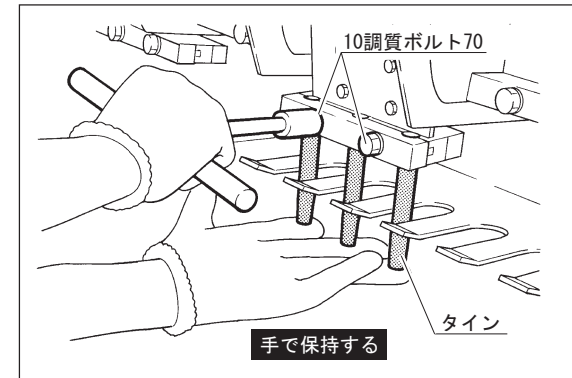
### タインの交換

### ▲ 危険



- ◆必ずエンジンを停止させ、キーを抜いてから作業を行うこと。
- ◆ティンは危険ですので、厚手の手袋をして取扱うこと。
- ◆ティンの交換は全数を同時に行うようにしてください。新旧のティンを混同して使用すると、異常振動の発生につながります。

10調質ボルト70(2本)を緩め、ティンを抜取り、新しいティンと交換します。取付けの際はティンを確実に奥まで差込み、手で保持しながらボルトをしっかり締付けてください。



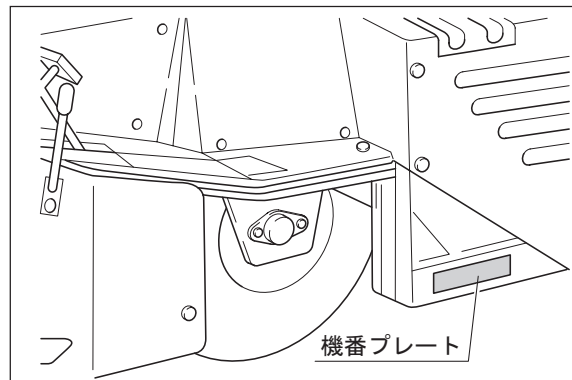
### 7-20

### その他、部品の点検

各種シール・油圧ホース・油圧シリンダ・ステアリングホイール・ブレーキペダル・ミッション・プーリ・タイヤ等は定期的に点検整備を行い、随時部品交換してください。

## 7-21 機番プレート取付位置

機番プレートには、型式、製造番号が刻印されています。  
取付位置はフレーム左側前部です。



## 7-22 メンテナンス諸元表

エンジンオイル量	通常時 約1.0~1.2dm <sup>3</sup> (L)
	乾燥時 (フィルタ交換時) 約1.6dm <sup>3</sup> (L)
使用プラグ	CHAMPION RC12YC (2本)
ガソリタンク容量	15dm <sup>3</sup> (L)
エンジン回転速度	最高 2600±100rpm
	アイドリング 1400±100rpm
ミッションオイル量	2.3dm <sup>3</sup> (L) (ギヤオイルSAE90)
油圧作動油	1.7dm <sup>3</sup> (L) (シェルテラス46または相当品)
タイヤ空気圧	前輪 100kPa (1kgf/cm <sup>2</sup> )
	後輪 140kPa (1.4kgf/cm <sup>2</sup> )
備考	

## 8. 長期保管について



- 1) エンジンについては、エンジンの取扱説明書をご覧ください。
- 2) 本機をきれいに清掃し、各摺動部にグリースおよびオイルを注油してください。
- 3) バッテリーを機体から取外し充電してから、風通しの良い屋内に保管してください。
- 4) タイヤの空気圧を標準よりやや高めにし、タインを取外して作業機を下降してください。
- 5) ボルト・ナットの緩み、脱落を点検してください。もし緩み、脱落があれば増締めや補修をしてください。
- 6) その他各部の不具合箇所、塗装のはげ落ちた箇所は整備してください。
- 7) 雨のかからぬ乾燥した所にカバー等をかけて格納してください。

**[重要]** … 長期使用しない場合、キャブレタ内のガソリンを全て抜き去ってください。ガソリンが腐食した場合、キャブレタを交換しないとエンジンがかからないことがあります。



**警告**

作業が終了して、カバー等を機械にかけるときは、過熱部分が完全に冷えてから行ってください。熱いうちにカバー類をかけると、火災の原因になり大変危険です。



## 9. メンテナンススケジュール



エンジンのメンテナンスは、エンジンの取扱説明書をご覧ください。

○…点検、調整、補給、清掃

●…交換

メンテナンス項目		使用前	25時間毎	50時間毎	100時間毎	200時間毎	300時間毎	500時間毎	毎年	備考
エンジン	オイルレベルのチェック	○								
	オイル交換			●						最初は8時間
	オイルフィルタ交換				●					
	エアクリーナ・エレメント清掃		●							最高1年で交換
	エアクリーナ・カートリッジ清掃			●						
	燃料フィルタ交換								●	
	スパークプラグ交換				●					
	バルブクリアランス点検								○	
燃料チェック	○									
機体	ミッションオイルのチェック	○								
	ミッションオイル交換						●			最初は50時間
	油圧オイルチェック	○								
	油圧オイル交換								●	最初は100時間
	油圧ホース									4年毎交換
	バッテリー液チェック	○								
	サイドブレーキワイヤ	○				●				(※)
	ブレーキワイヤ	○				●				(※)
	ブレーキシュー	○				●				(※)
	ステアリングチェーンの張り	○								(※)
	クランク駆動用チェーン			○						
	クランク駆動用チェーンの交換								●	
	Vベルト	○				●				(※)
タイヤの空気圧	○								(※)	
各部のネジの緩み	○									
グリースアップ			●							
ゴミ等の除去	○									

※使用前の点検で亀裂・損傷・磨耗等がある場合は、ただちに交換してください。

メンテナンス等に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

※P15 6. 点検整備の注意事項を守ってください。

## 10. オプション製品 (パーツカタログ15,16オプション参照)

- 鎮圧ローラー
  - ・スパイクタインでの穴あけ作業時、この鎮圧ローラーをセットすることにより芝の表面を踏圧し、即時のプレーが可能となります。
- ロールバー
  - ・機械転倒時に回転を防止する補助装置です。

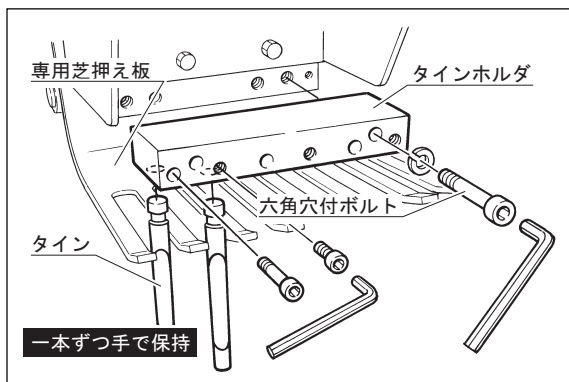


**危険** P14 5-3 走行・作業時の横転を必ず守ること。

- タインホルダ&専用芝押え板
    - ・より細かいピッチで穴あけをしたい場合は、オプションのタインホルダをご使用ください。
- ※タインホルダを使用するときは、芝押え板をオプションのタインホルダ専用芝押え板に取替えてください。

〈タインホルダおよびタインの取付け〉

- ① タインホルダを六角穴付ボルトでクランクに固定します。
- ② タインをタインホルダの奥まで確実に差込み、1本ずつタインを手で保持しながら、六角穴付ボルトをしっかり締付けてください。



- タイン
 

タインの種類は2つに大別され、『芝を抜取るパイプ型』と『穴をあけるスパイク型』とがあります。

※タインについての詳細は以下に記載しています。

## タインについて

・下表を参考にし、『パイプ型』『スパイク型』のタインをそれぞれ用途に合わせて使い分け、ご利用ください。

	〔パイプ型〕	〔スパイク型〕	
エアレーション効果	効果大	良好	
透水性効果	効果大	良好	
地中ガス拡散効果	効果大	良好	
ターフ表面に与える損傷	大きい	パイプ型より少ない	
芝草に与える損傷	大きい	パイプ型より少ない	
芝草の回復	時間がかかる	早い	
実施の時期	芝の生育が旺盛なとき	必要に応じていつでも実施	
コアの処理	必要	コアが排出されない ので不要	
穴あけ後の芝の刈取り	刈った方がよい	刈った方がよい	
穴あけ後のプレー	すぐにできない	即時プレー可能 (ただし鎮圧した後、 芝を刈取ることが必要)	
土壌との混合による サッチの分解	促進される	少ない	
土壌大孔隙率へ及ぼす影響	固結土壌のとき	増加する	増加せず
	非固結土壌のとき	変化せず	減少する

※ 大孔隙：水と空気の通路で、芝草の根はこの孔隙を通して伸長する。

## 11. 油圧回路図

[パイプ型]

(単位 mm)

番号	品名	先端寸法		取付部外径	全長	使用本数	備考
		内径	外径				
①							
②							
③							
④	φ16V タイプ	11		16	125	18 (24)	(○ ☆)
⑤	φ19V タイプ	14		19	125	18	○
⑥	φ10V タイプ	6		9.5	100	36	○ ☆

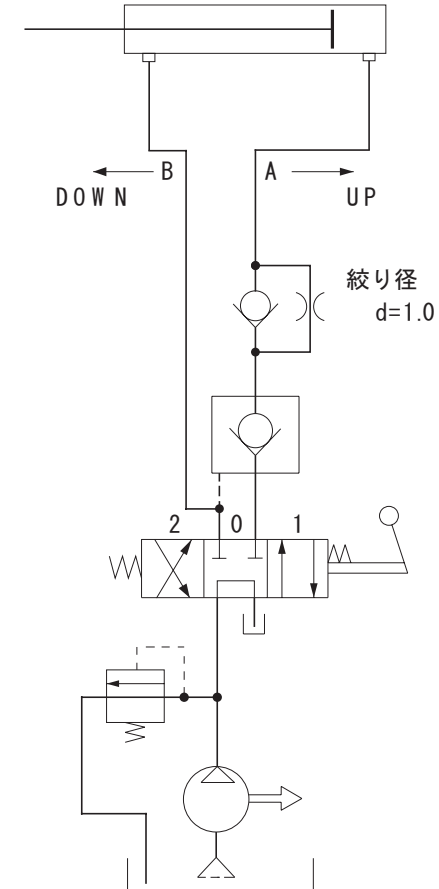
(注) ○は専用のタイプ取付板が必要となります。☆は専用の芝押え板が必要となります。

[スパイク型]

(単位 mm)

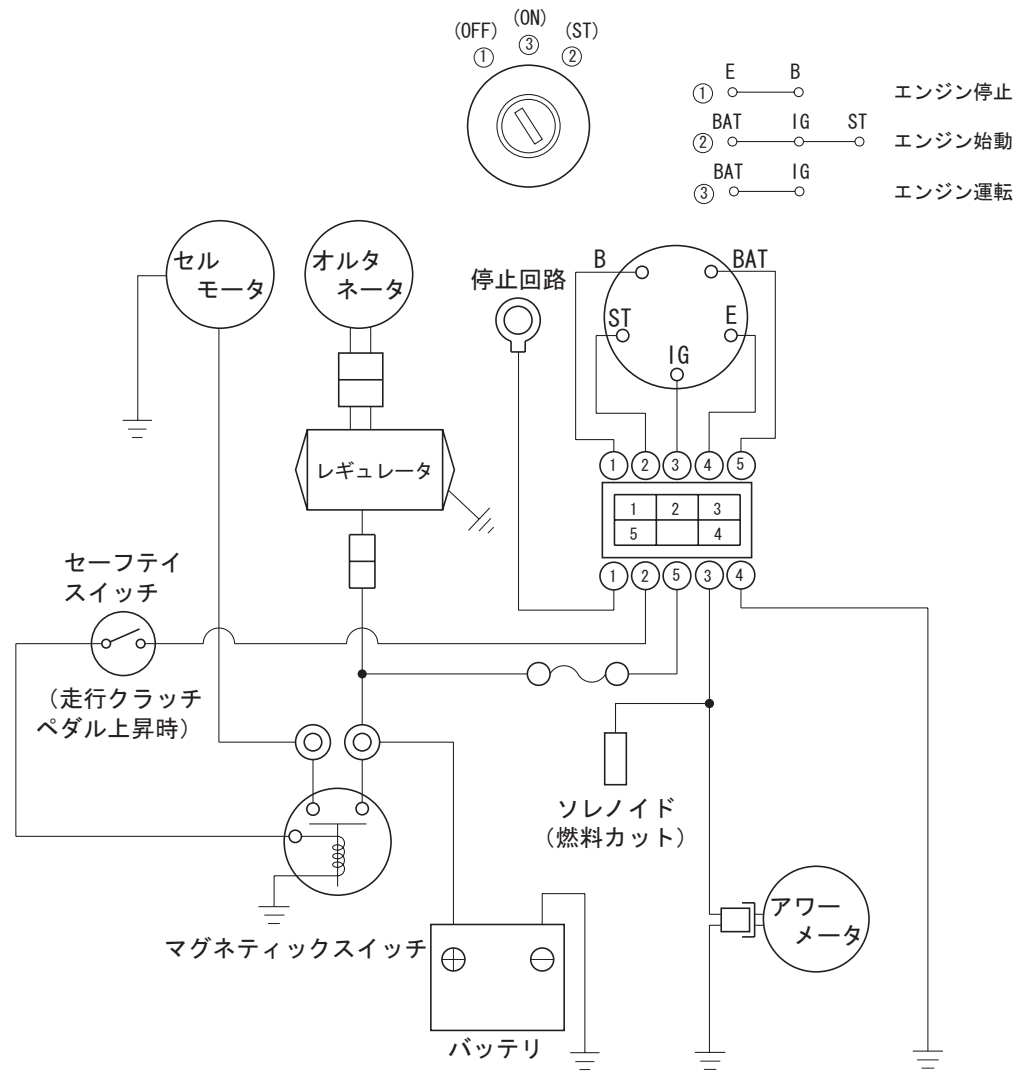
番号	品名	先端寸法		取付部外径	全長	使用本数	備考
		内径	外径				
①	φ10μクタイプ		10	9.5	100	36	○ ☆
②	φ8スパイクタイプ		8.0	16	120	18	
③	φ12.5スパイクタイプ		12.5	16	120	18	

(注) ○は専用のタイプ取付板が必要となります。☆は専用の芝押え板が必要となります。



※ タイプの型式はパーツカタログ『15 オプション1』に記載してあります。

## 12. 電気回路図



### 13. クランクタイム部参照図

チェーンを張った時の  
上クランク及び下クランクの  
正しい位置状態図

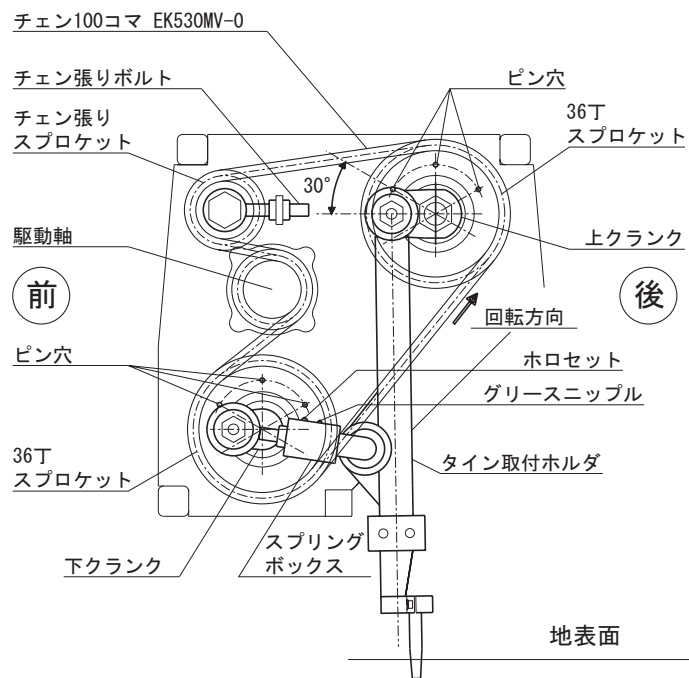


図 A

タイミング順合せ  
ブロック①の状態

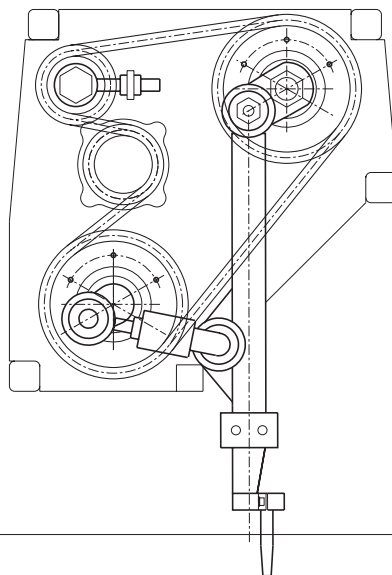


図 B

タイミング順合せ  
ブロック③の状態

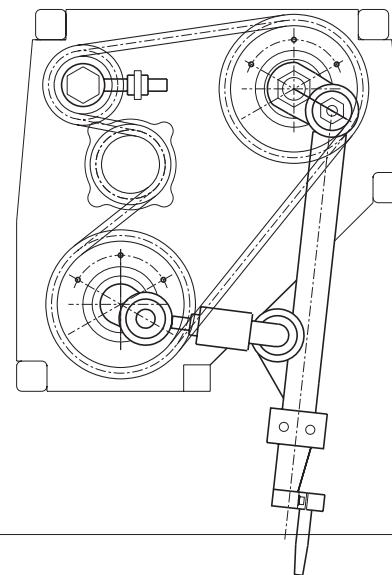


図 C

タイミング順合せ  
ブロック⑤の状態

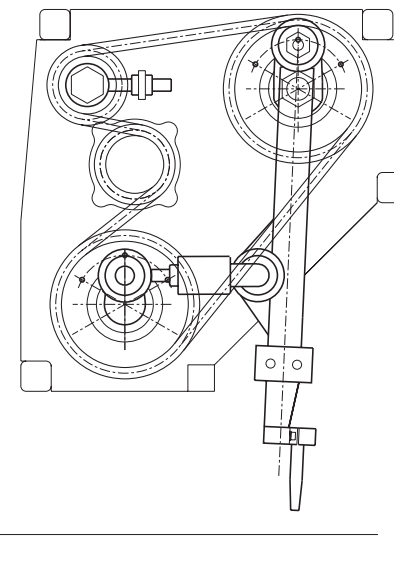
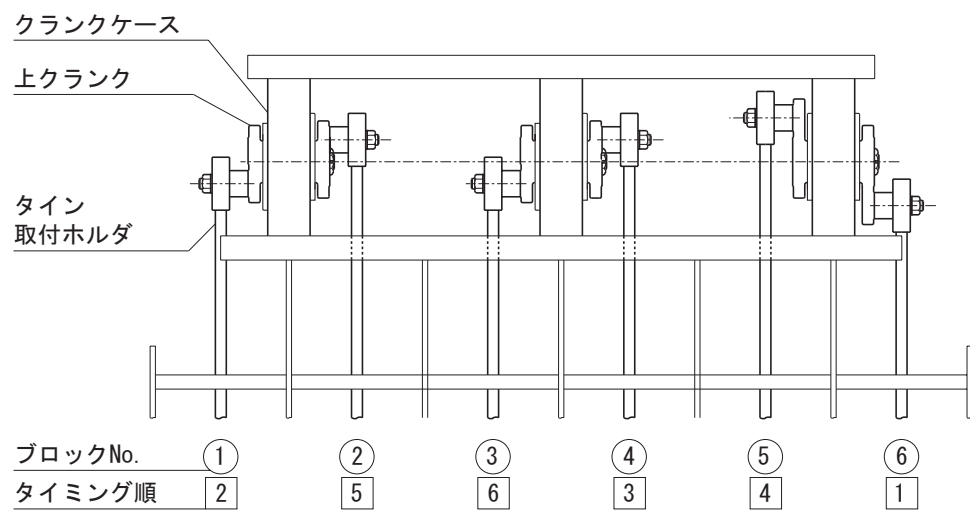
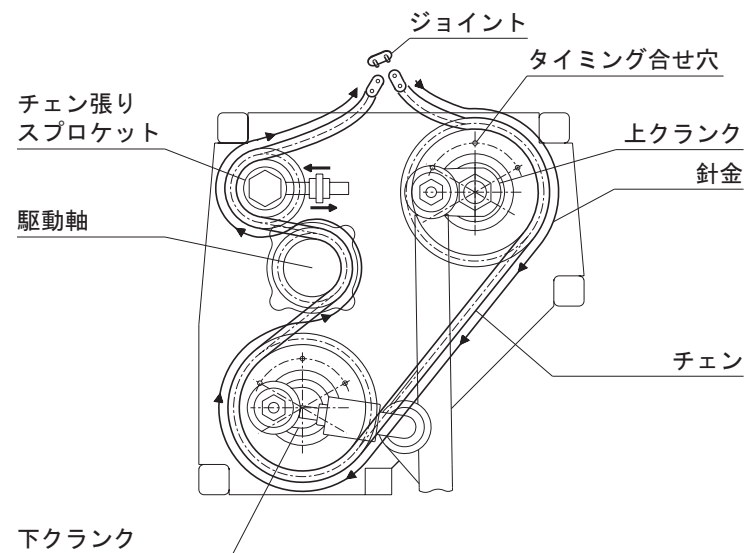


図 D

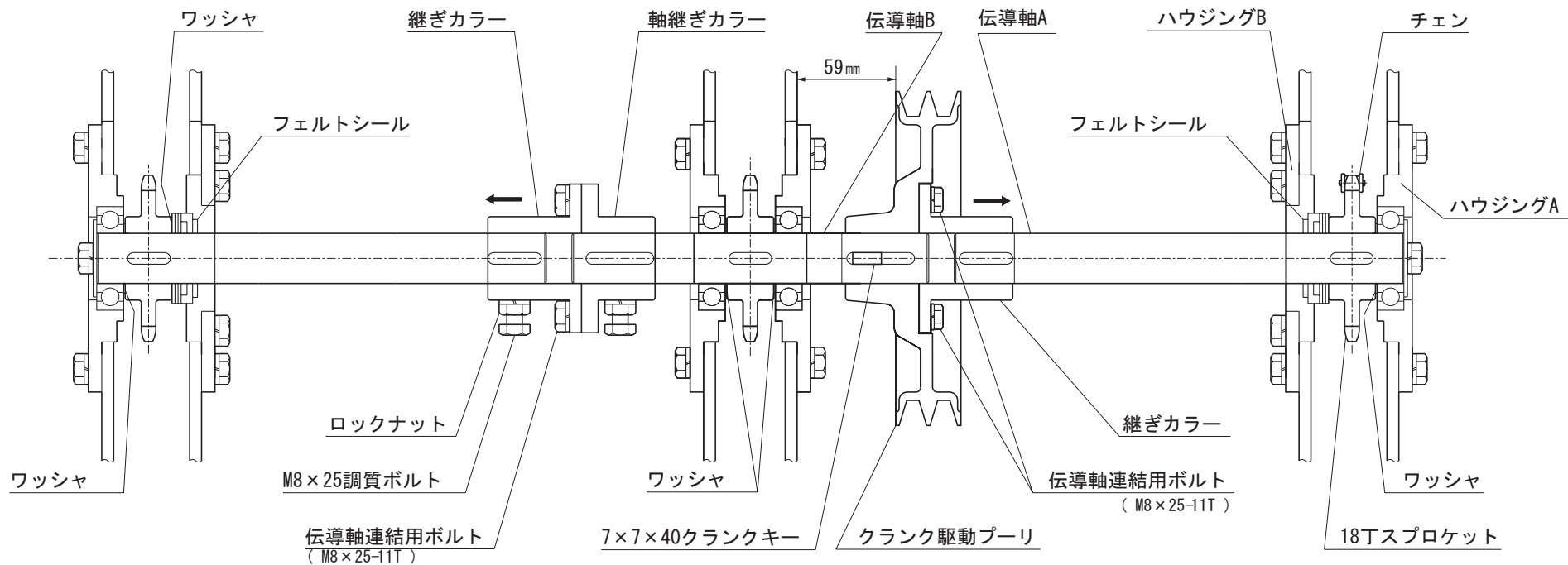
本機左側からの視図



図E 後よりの視図



図G 左側からの視図



図F 上よりの視図

## 目次 《G A1100A パーツカタログ》

(本機お問い合わせについて) 型式が順次変更になっている場合がありますので、機械の型式と製造番号を合せてご通知くださるようお願いいたします。

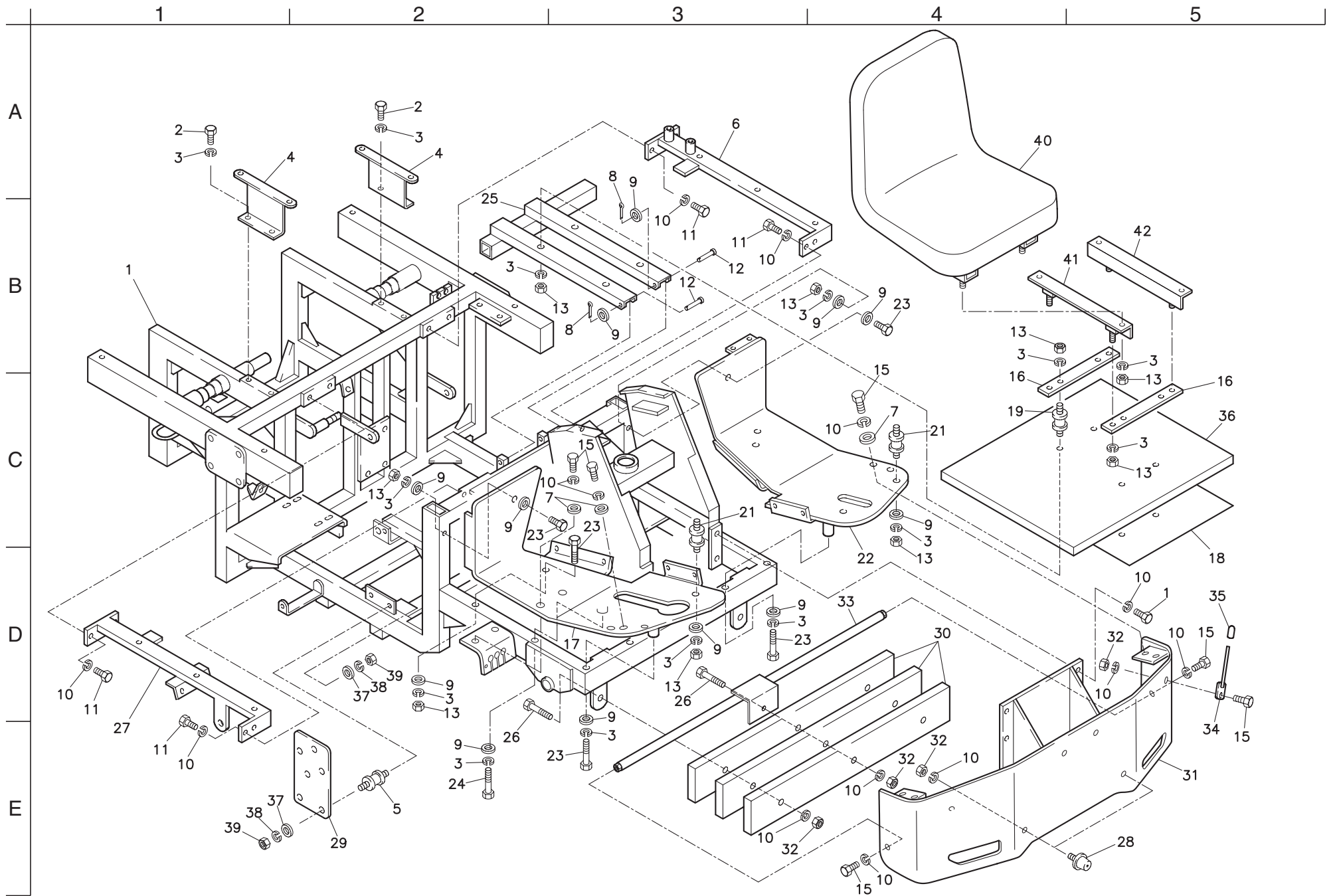
なお、本書記載事項は予告なしに変更することがあります。

(部品注文について) 部品は電算機にて管理しておりますが誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号・コード番号・部品名称でご注文ください。

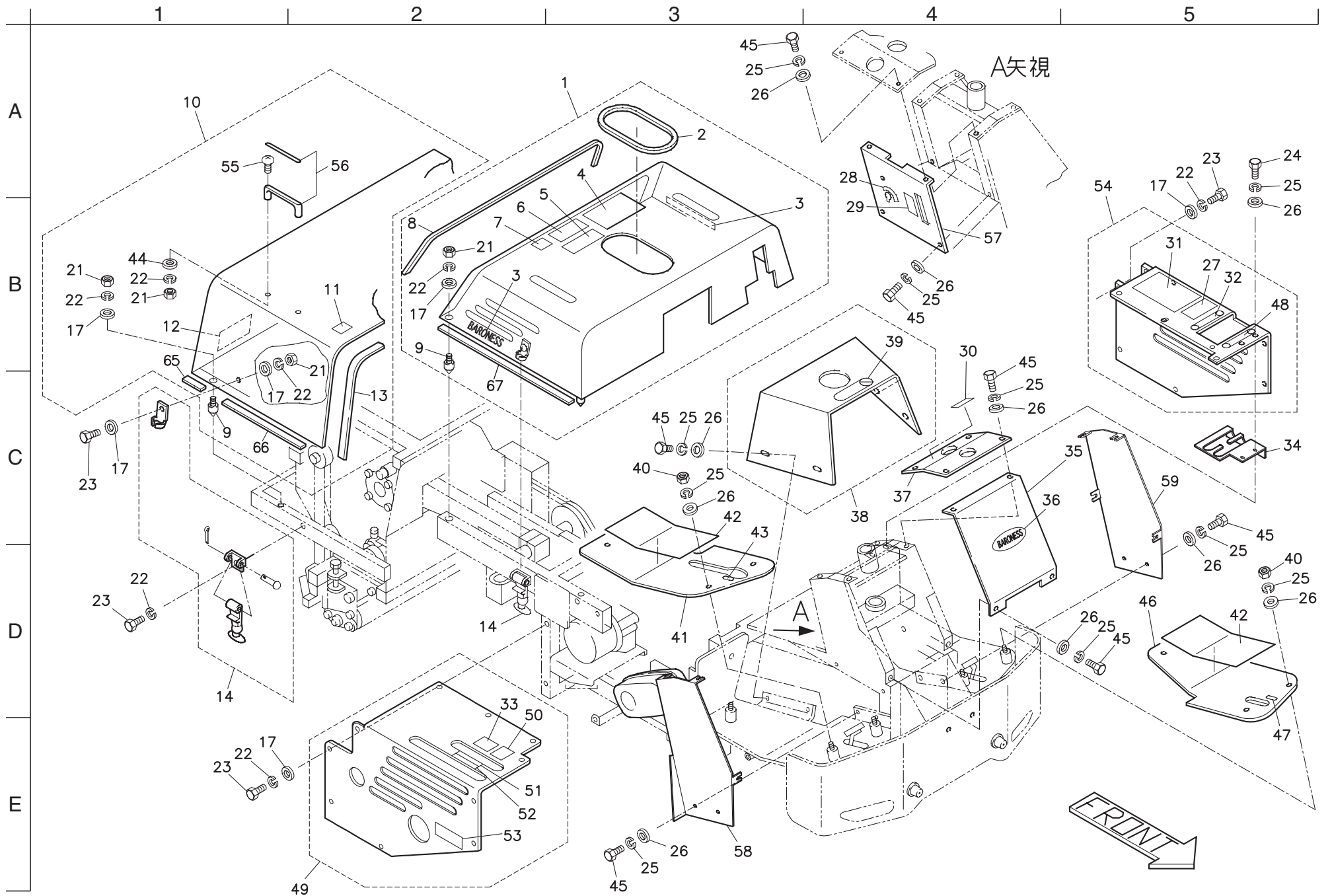
例	カタログ番号	コード番号	部品名称	個数
	3-3	K5131001753	スロットルレバー	1

1. フレーム .....	36
2. カバー .....	38
3. ハンドル&前輪 .....	40
4. 電装品 .....	44
5. ミッション&後輪 .....	46
6. ミッションケース .....	48
7. ミッションギヤ&シャフト .....	50
8. エンジン&走行 .....	52
9. ブレーキ&クラッチ .....	54
10. タインクラッチ .....	56
11. 油圧シリンダ .....	58
12. タインフレーム .....	60
13. クランク駆動 .....	62
14. クランクタイン .....	64
15. オプション1 .....	66
16. オプション2 .....	68
17. 工具&付属品 .....	70

# 1 フレーム



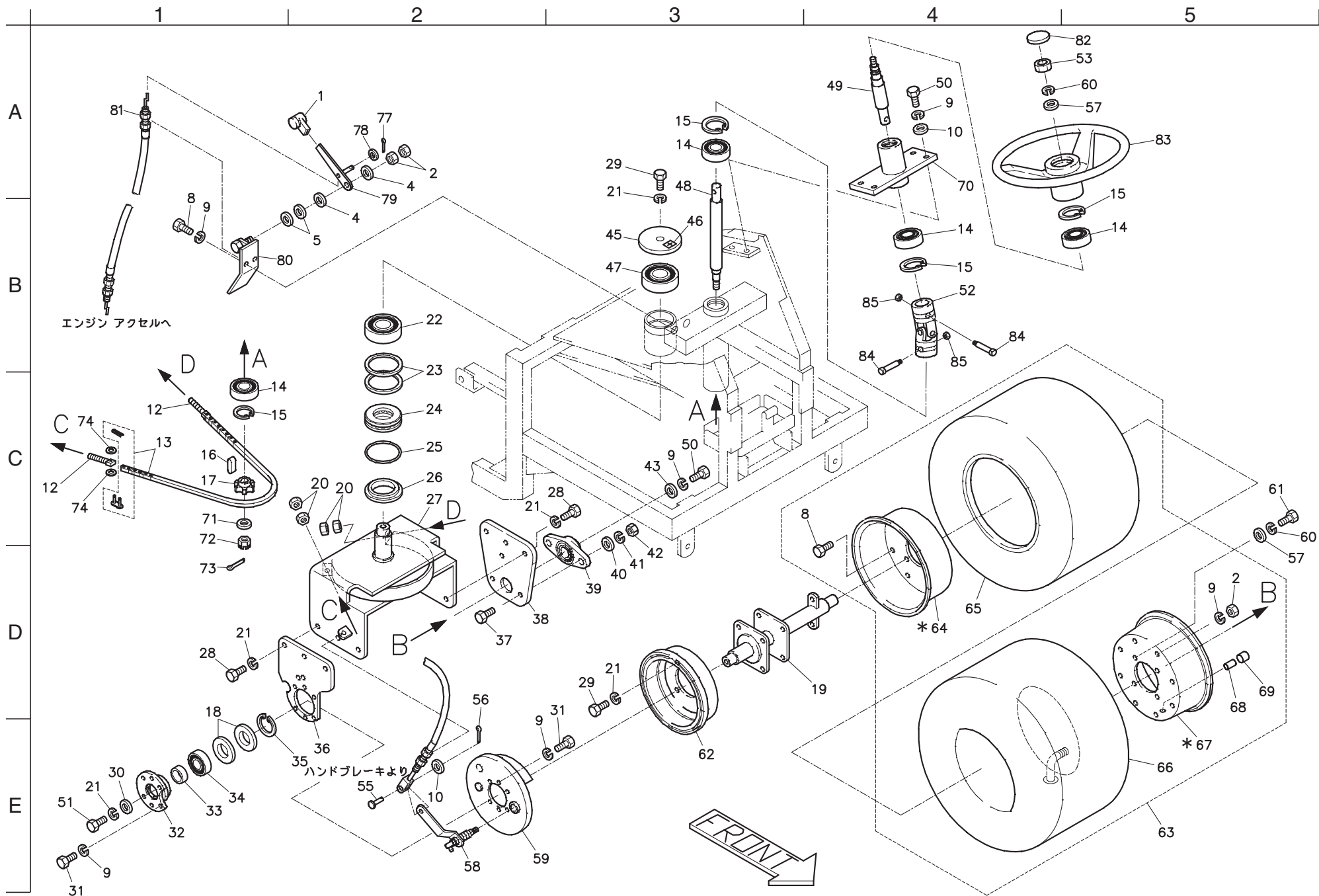




カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
2-1	GA1100A0527A0	フレームカバーCOMP	1	
2-2	K3197006700	黒トリム670	1	
2-3	K4201000120	BARONESSマーク121	2	
2-4	K4205000590	メンテナンスの注意ラベル梱包機	1	
2-5	K4205000720	エンジン注意プレート小	1	
2-6	K4205000670	ベルト回転物注意マーク	1	
2-7	K4205000480	カバー取付注意マーク	1	
2-8	K3197011600	黒トリム1160	1	
2-9	K0071001082	止メボルト	6	
2-10	GA1100-3551C0	クランクカバーCOMP	1	
2-11	K4205000480	カバー取付注意マーク	1	
2-12	K4205000370	グリーンスエア危険マーク	1	
2-13	K3197017200	黒トリム1720	1	
2-14	K1520000030	ゴムキャッチAss'y	4	
2-15				
2-16				
2-17	K5000060002	6ワッシャー	34	
2-18				
2-19				
2-20				
2-21	K0100060002	6ナット	14	
2-22	K0200060002	6Sワッシャー	38	
2-23	K0000060152	6ボルト15	8	
2-24	K0000080202	8ボルト20	2	
2-25	K0200080002	8Sワッシャー	24	
2-26	K5000080002	8ワッシャー	24	
2-27	K4205001150	3速下り警告ラベル	1	
2-28	K4209000410	キースイッチマーク	1	
2-29	K4203000700	アクセルマーク	1	
2-30	GA1100A0531Z0	マーク	1	
2-31	K4205001430	傾斜地使用警告事項ラベル	1	
2-32	GA1100-3530Z0	変速プレートB	1	
2-33	K4205001130	昇降レバー注意ラベル	1	
2-34	GA1100-3542AD	H穴付板	1	
2-35	GA1100-3513ZR	ハンドルカバーA	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
2-36	K4201000590	Kマーク	1	
2-37	GA1100-3514AD	ハンドルカバーB	1	
2-38	GA1100-3550B0	前輪部カバーCOMP	1	
2-39	K4205001660	公道乗車禁止マーク	1	
2-40	K0100080002	8ナット	6	
2-41	GA1100A0535ZD	ステップ上板右	1	
2-42	K4400000010	ステップシート	2	
2-43	K4203000380	ブレーキペダルマーク	1	
2-44	K5012306202	2.3SPCC座金620	4	
2-45	K0000080152	8ボルト15	16	
2-46	GA1100-3534ZD	ステップ上板左	1	
2-47	K4203000370	クラッチペダルマーク	1	
2-48	GA1100-3581Z0	変速プレートC	1	
2-49	GA1100A0525Z0	右カバーCOMP	1	
2-50	K4205000650	クラッチ注意事項	1	
2-51	GA1100-3539Z0	上下プレート	1	
2-52	GA1100-3538Z0	クラッチプレート	1	
2-53	K4205000560	マフラー注意マーク	1	
2-54	GA1100A0526Z0	左カバーCOMP	1	
2-55	K0042060202	6+丸小ねじ20	4	
2-56	K1301000160	ハンドル	2	
2-57	GA1100-3564ZR	ハンドルカバーC	1	
2-58	GA1100-3562ZR	前輪部右カバー	1	
2-59	GA1100-3561ZR	前輪部左カバー	1	
2-60				
2-61				
2-62				
2-63				
2-64				
2-65	GA1100-3573Z0	ゴムスポンジ75-15	2	
2-66	GA1100-3572Z0	ゴムスポンジ380-15	2	
2-67	GA1100-3571Z0	ゴムスポンジ500-15	2	

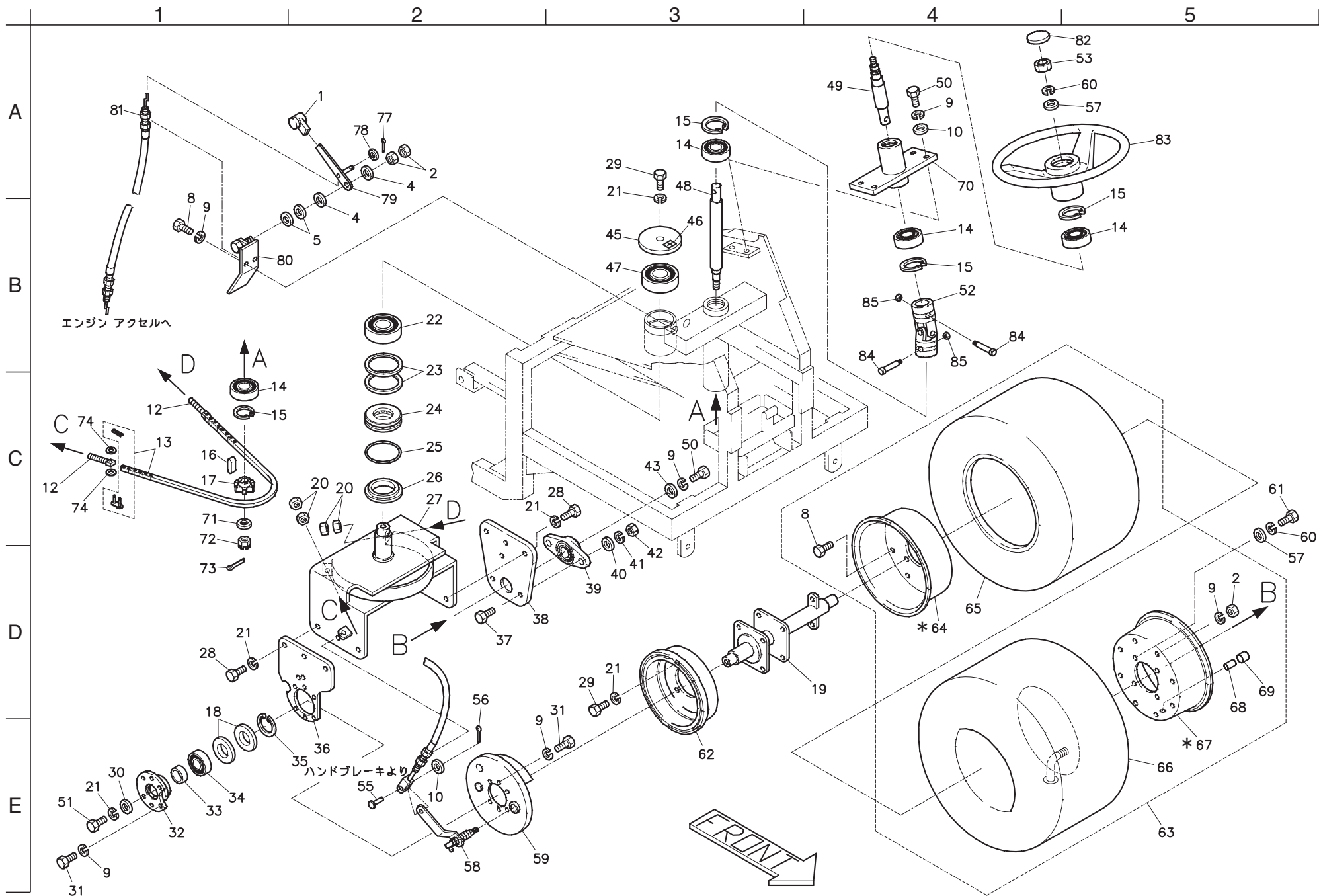
# 3 ハンドル&前輪



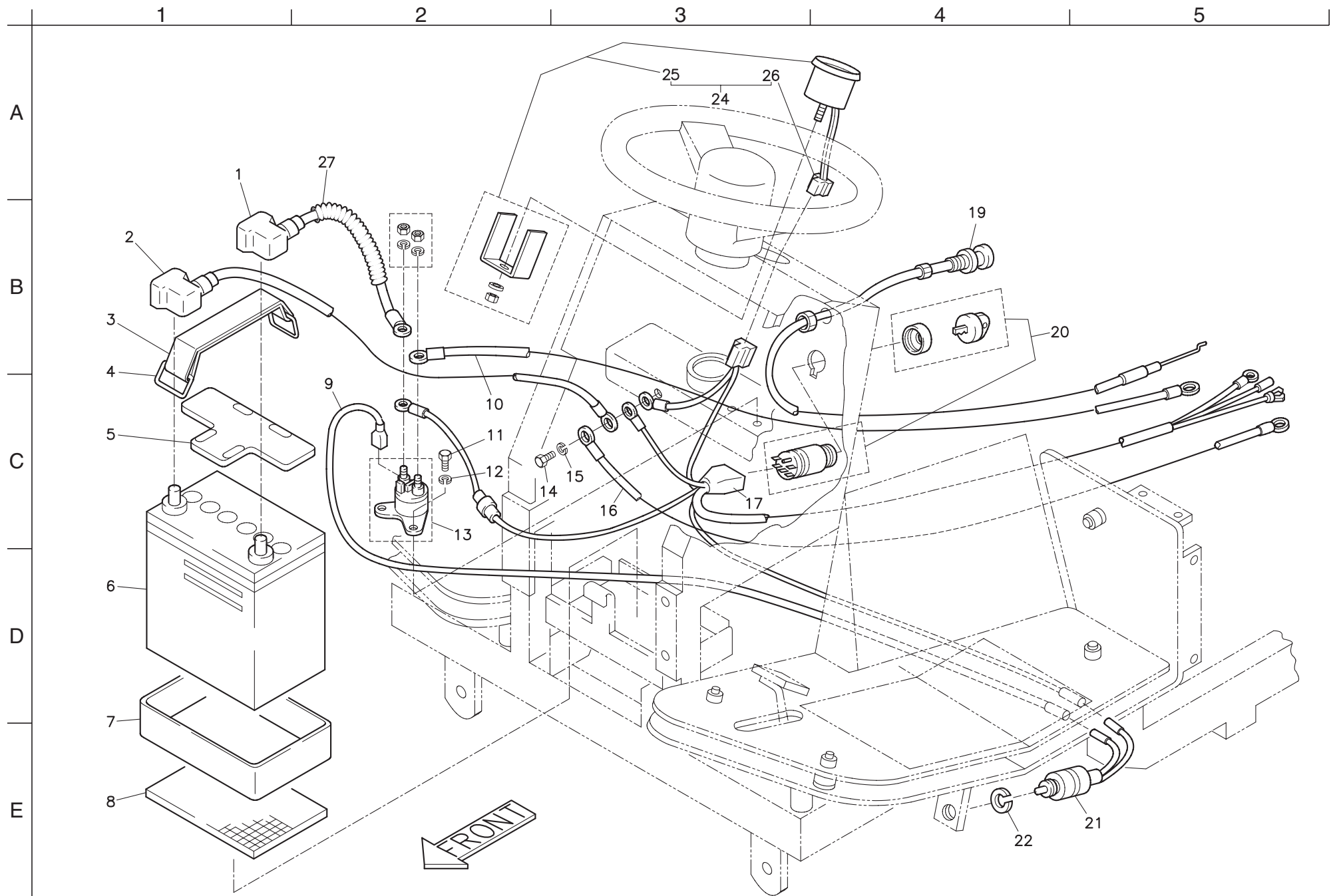
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
3-1	K1320000110	サシ込ミツマミ	1	
3-2	K0100080002	8ナット	8	
3-3				
3-4	K5051008180	1C5191P座金818	2	
3-5	K0213080002	8さらばね座金1H	2	
3-6				
3-7				
3-8	K0000080202	8ボルト20	8	
3-9	K0200080002	8Sワッシャー	19	
3-10	K5000080002	8ワッシャー	5	
3-11				
3-12	K6122000152	10調節ネジ70	2	
3-13	K2210000040	EK428Hチェン49JJ	1	
3-14	K0612060040	ベアリング60042RD	4	
3-15	K0402042001	ストップリングR42	4	
3-16	K0500404200	4両丸キー420	1	
3-17	K2230000018	12.7スプロケット9	1	
3-18	K5011040522	1SPCC座金4052	2	
3-19	K7148000132	前輪軸	1	
3-20	K0100100002	10ナット	4	
3-21	K0200100002	10Sワッシャー	12	
3-22	K0600060070	ベアリング6007	1	
3-23	K5011052622	1SPCC座金5262	2	
3-24	K0640512070	スラストベアリング51207	1	
3-25	K0880052000	0リングP52	1	
3-26	K6219000592	ベアリング受けA	1	
3-27	GA1100-3505AD	アーム	1	
3-28	K0010100252	10調質ボルト25	6	
3-29	K0000100202	10ボルト20	5	
3-30	K5073210352	3.2SPHC座金1035	1	
3-31	K0010080252	8調質ボルト25	6	
3-32	K6202000282	後輪ハウジング	1	
3-33	K6212001292	25.2カラー328	1	
3-34	K0613062050	ベアリング62052RDC3	1	
3-35	K0402052001	ストップリングR52	1	
3-36	K513100119D	前輪ブラケット右	1	
3-37	K0000140402	14ボルト40	2	
3-38	K513100128D	前輪ブラケット	1	
3-39	K0661205000	ヒシフランジュニットUCFL205	1	
3-40	K5000140002	14ワッシャー	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
3-41	K0200140002	14Sワッシャー	2	
3-42	K0100140002	14ナット	2	
3-43	K5073208352	3.2SPHC座金835	1	
3-44				
3-45	K620400053R	軸受カバー	1	
3-46	K4209001180	前輪マーク	1	
3-47	K0612062060	ベアリング62062RD	1	
3-48	GA1100A0501Z0	ステアギヤ軸	1	
3-49	GA1100-3520Z0	ハンドルシャフト	1	
3-50	K0000080252	8ボルト25	5	
3-51	K0000100252	10ボルト25	1	
3-52	K1620000090	ジョイントNC-20-00A-E	1	
3-53	K0108120002	12ナット3P1.25	1	
3-54				
3-55	K6030080172	8平頭ピン17	1	
3-56	K0300020202	2割ピン20	1	
3-57	K5000120002	12ワッシャー	5	
3-58	K7322000022	レバー付カム軸B	1	
3-59	K1720000070	ブレーキAss'y180B	1	
3-60	K0200120002	12Sワッシャー	5	
3-61	K0011120252	12調質ボルト25P1.5	4	
3-62	K6909000202	ブレーキドラム181	1	
3-63	K2040000240	タイヤAss'yC190	1	
*3-64	K2090000580	ホイール8.50SP-8	1	注文単位：*セット
3-65	K2041000160	タイヤC190・19×10.5-8-4PR	1	
3-66	K2091000250	チューブ18×8.50-950/8	1	
*3-67	K2090000590	ホイール8.50SP-8/バルブ孔付	1	注文単位：*セット
3-68	K2092000020	バルブコアNo.9000	1	
3-69	K2093000010	バルブキャップ	1	
3-70	GA1100-3560AD	ハンドルフレーム	1	
3-71	K0210100002	10さらばねL	1	
3-72	K0124100002	10みぞ付きナット低	1	
3-73	K0302025250	2.5ステンレス割ピン25	1	
3-74	K6210000082	5.2カラー83	4	
3-75				
3-76				
3-77	K0300016122	1.6割ピン12	1	
3-78	K5000060002	6ワッシャー	1	
3-79	K742200018D	スロットルレバー	1	
3-80	GA1100A0503ZD	スロットルレバー台	1	

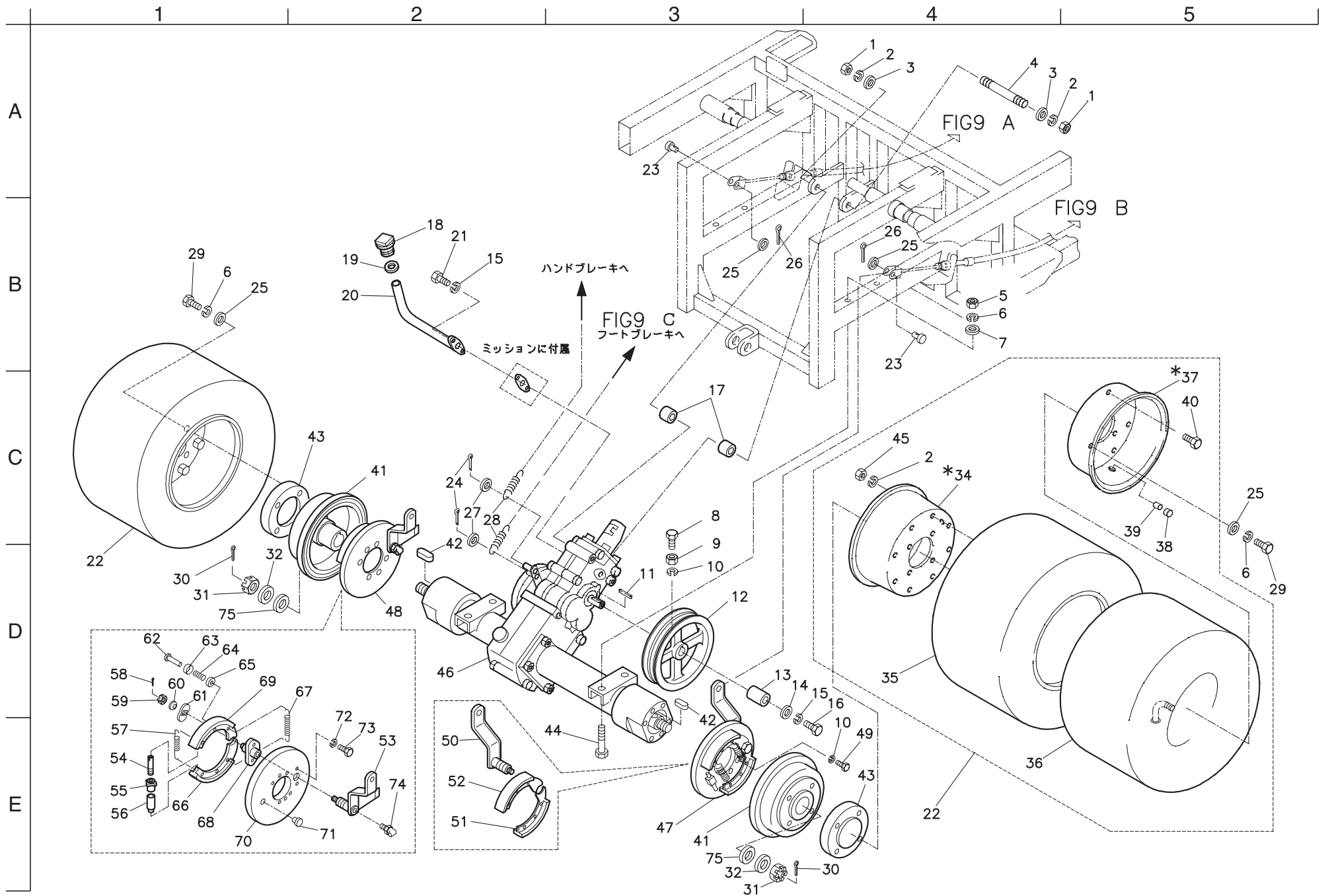
# 3 ハンドル&前輪





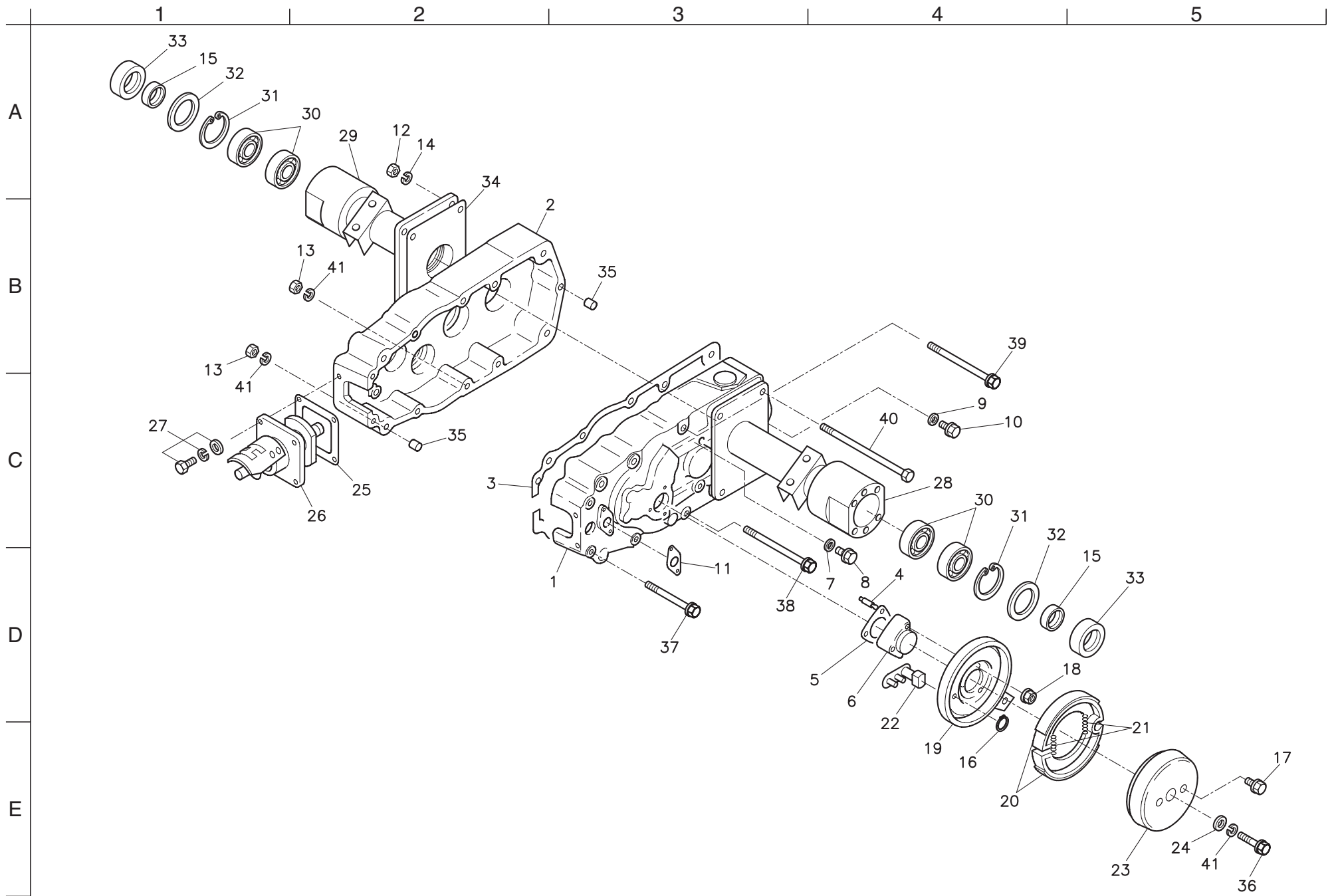






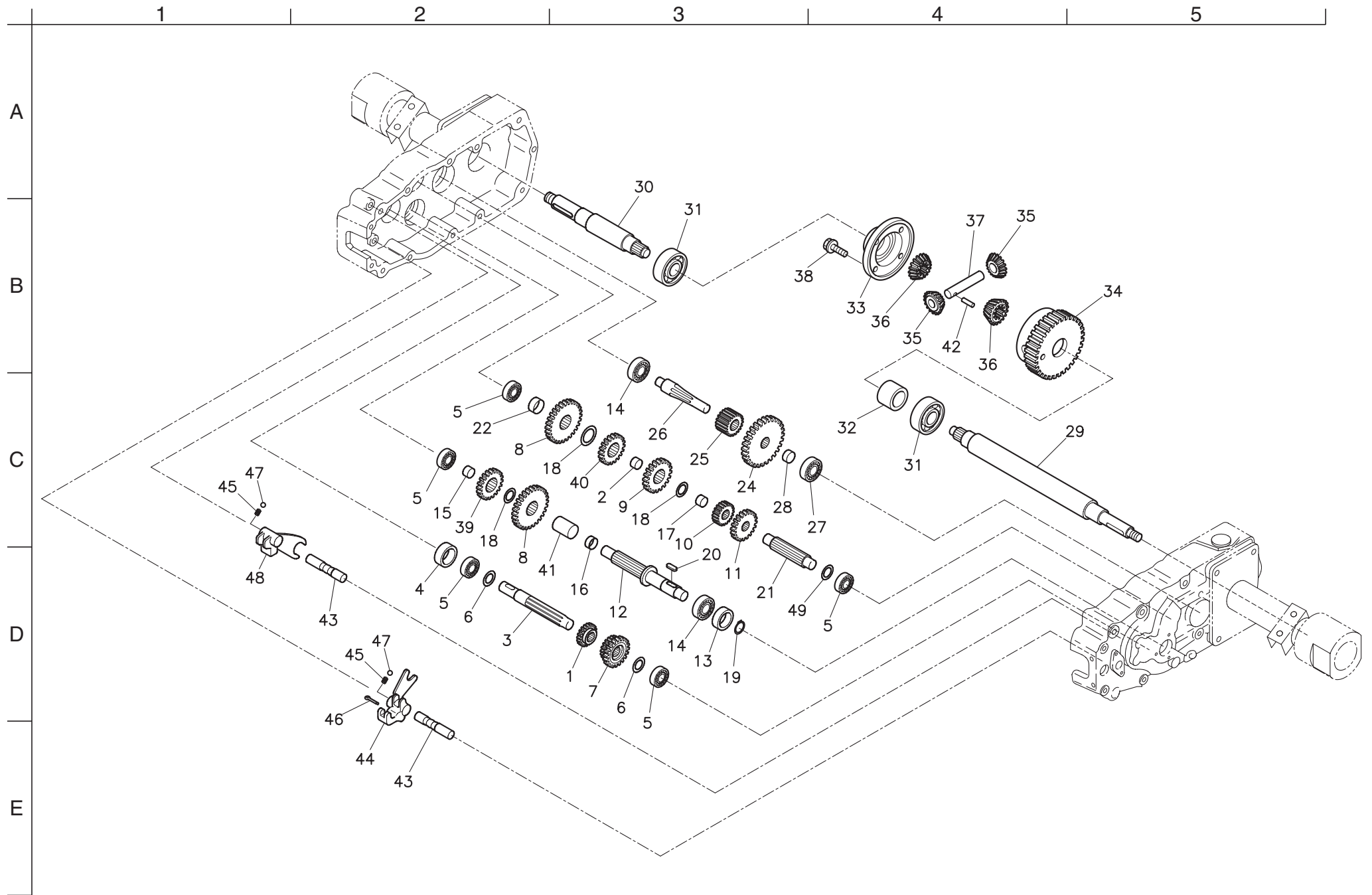
カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-1	K0103100002	10ナットP1.25	2	
5-2	K0200100002	10Sワッシャー	18	
5-3	K5000100002	10ワッシャー	2	
5-4	K00700000012	ミッション締付ボルト	1	
5-5	K0100120002	12ナット	4	
5-6	K0200120002	12Sワッシャー	12	
5-7	K5073212252	3.2SPHC座金1225	4	
5-8	K0010080302	8調質ボルト30	2	
5-9	K0100080002	8ナット	2	
5-10	K0200080002	8Sワッシャー	14	
5-11	K0500505250	5両丸キー525	1	
5-12	GA1100-4601Z2	ミッション付プーリー210	1	
5-13	GA700--0149Z2	プーリーカラー	1	
5-14	K5012306252	2.3SPHC座金625	1	
5-15	K0200060002	6Sワッシャー	3	
5-16	K0010060402	6調質ボルト40	1	
5-17	K6210000062	10.5カラー2510	2	
5-18	K1410000030-Y	エアーク孔給油栓18	1	
5-19	K4010217250	2オイルシート17.525	1	
5-20	GA700--0125Z2	ミッションオイル注入口金具	1	
5-21	K0000060202	6ボルト20	2	
5-22	K2040000620	タイヤ20×12.00-10Ass'y	2	
5-23	K6030120242	12平頭ピン24	2	
5-24	K0300020202	2割ピン20	2	
5-25	K5000120002	12ワッシャー	10	
5-26	K0300020202	2割ピン20	2	
5-27	K5000080002	8ワッシャー	2	
5-28	K103000001D	2.9Uフックバネ1564.2	2	
5-29	K0014120552	12調質ボルト55P1.5	8	
5-30	K0300032402	3.2割ピン40	2	
5-31	K0170000012	20みぞ付き特殊ナット	2	
5-32	K0211200001	20さらばねH	2	
5-33				
*5-34	K2090000560	ホイール8.50SP-10	2	注文単位：*セット
5-35	K2041000380	タイヤ20×12.00-10	2	
5-36	K2091000240	チューブ20×10.00-10	2	
*5-37	K2090000570	ホイール8.50SP-10バルブ孔付	2	注文単位：*セット
5-38	K2093000010	バルブキャップ	2	
5-39	K2092000020	バルブコアNo.9000	2	
5-40	K0000100202	10ボルト20	16	

カタログ番号	コード番号	部品名称	個数	備考
5-41	GA1100A0171Z2	ホイール取付座	2	
5-42	K0501010450	10両丸キー1045	2	
5-43	GA1100A0172Z2	スペーサー30	2	
5-44	K0010120902	12調質ボルト90	4	
5-45	K0100100002	10ナット	16	
5-46	K2700000330	富士ミッションMC81KC21	1	
5-47	K1720000170	レバー付ブレーキAss'y R	1	
5-48	K1720000180	レバー付ブレーキAss'y L	1	
5-49	K0010080202	8調質ボルト20	12	
5-50	GA1100A0175Z2	ブレーキレバー右	1	
5-51	P741-8007-00	シュウAss'y	1	
5-52	P741-8005-00	シュウAss'y	1	
5-53	GA1100A0173Z2	ブレーキレバー左	1	
5-54	P722-7341-00	アジャストボルト	2	
5-55	P722-7342-00	アジャストギヤ	2	
5-56	P723-7329-00	スリーブ	2	
5-57	P153-8002-00	スプリング	2	
5-58	P601-2525-00	割ピン	2	
5-59	P535-1008-00	キャスルナット	2	
5-60	P801-7308-00	ワッシャー	2	
5-61	P731-7335-00	カム	2	
5-62	P713-7044-00	ガイドピン	4	
5-63	P801-7012-00	スプリングシートA	4	
5-64	P154-7033-00	スプリング	4	
5-65	P801-7023-00	スプリングシートB	4	
5-66	P741-8006-00	シュウAss'y	1	
5-67	P153-8004-00	スプリング	2	
5-68	P712-8003-00	ブラケット	2	
5-69	P741-8008-00	シュウAss'y	1	
5-70	P711-8016-00	プレートAss'y	2	
5-71	P319-7122-00	プラグ	2	
5-72	P573-1025-20	スプリングワッシャー	4	
5-73	P501-1016-10	ボルト	4	
5-74	K1440000040	C形グリスニップルPT1/8	2	
5-75	K5090000372	6SS41B-D座金20.542	2	

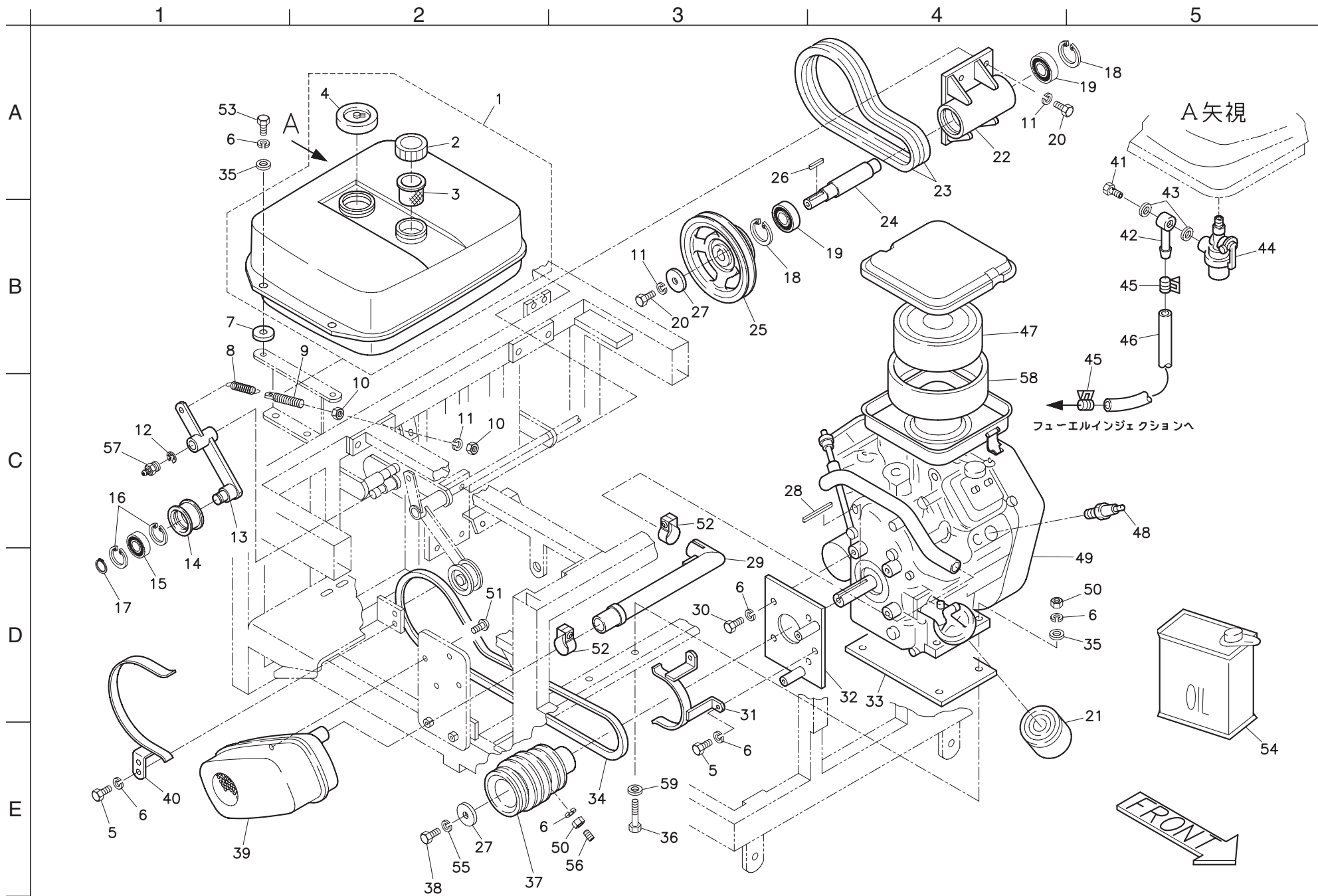




# 7 ミッション ギヤ&シャフト

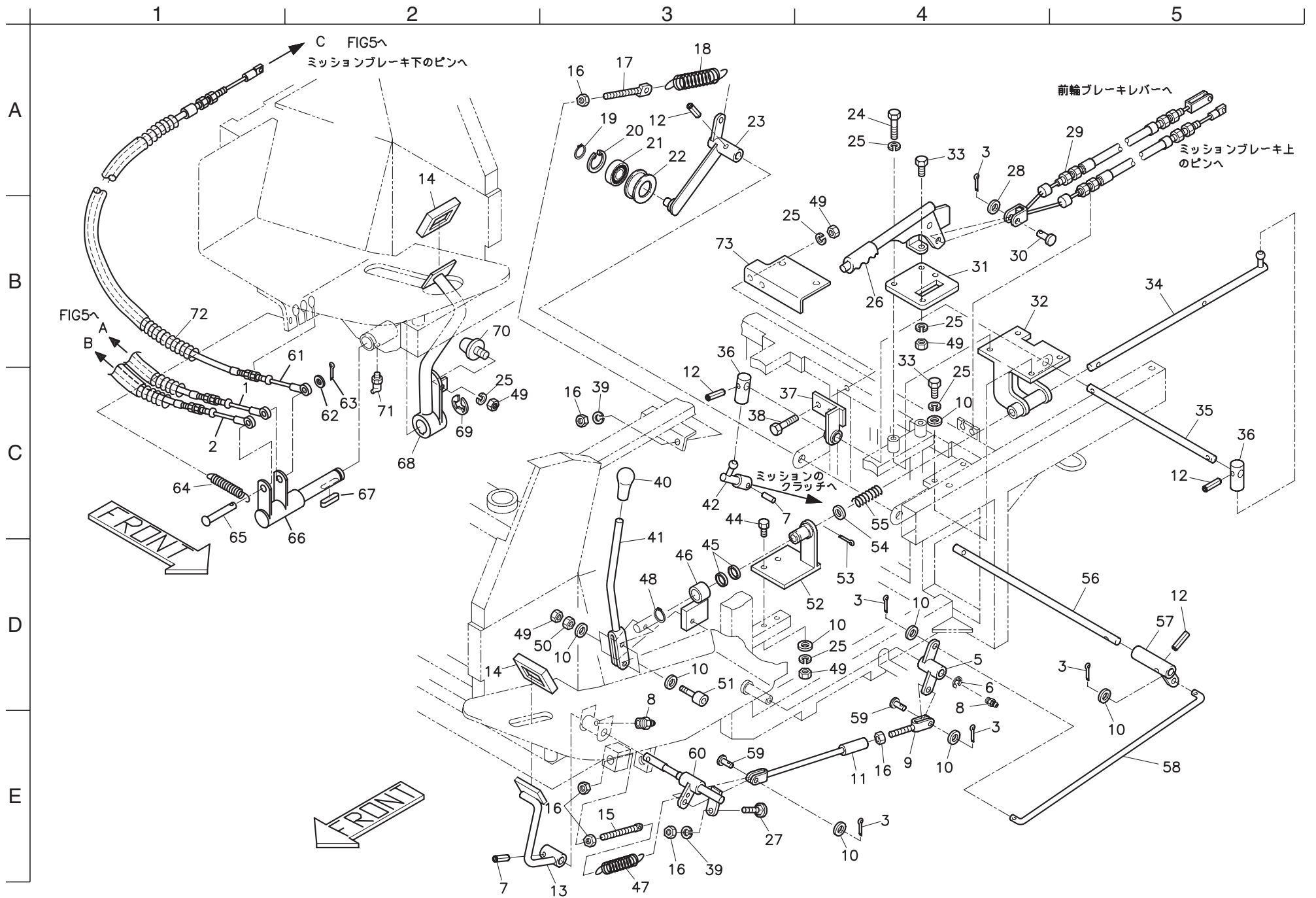






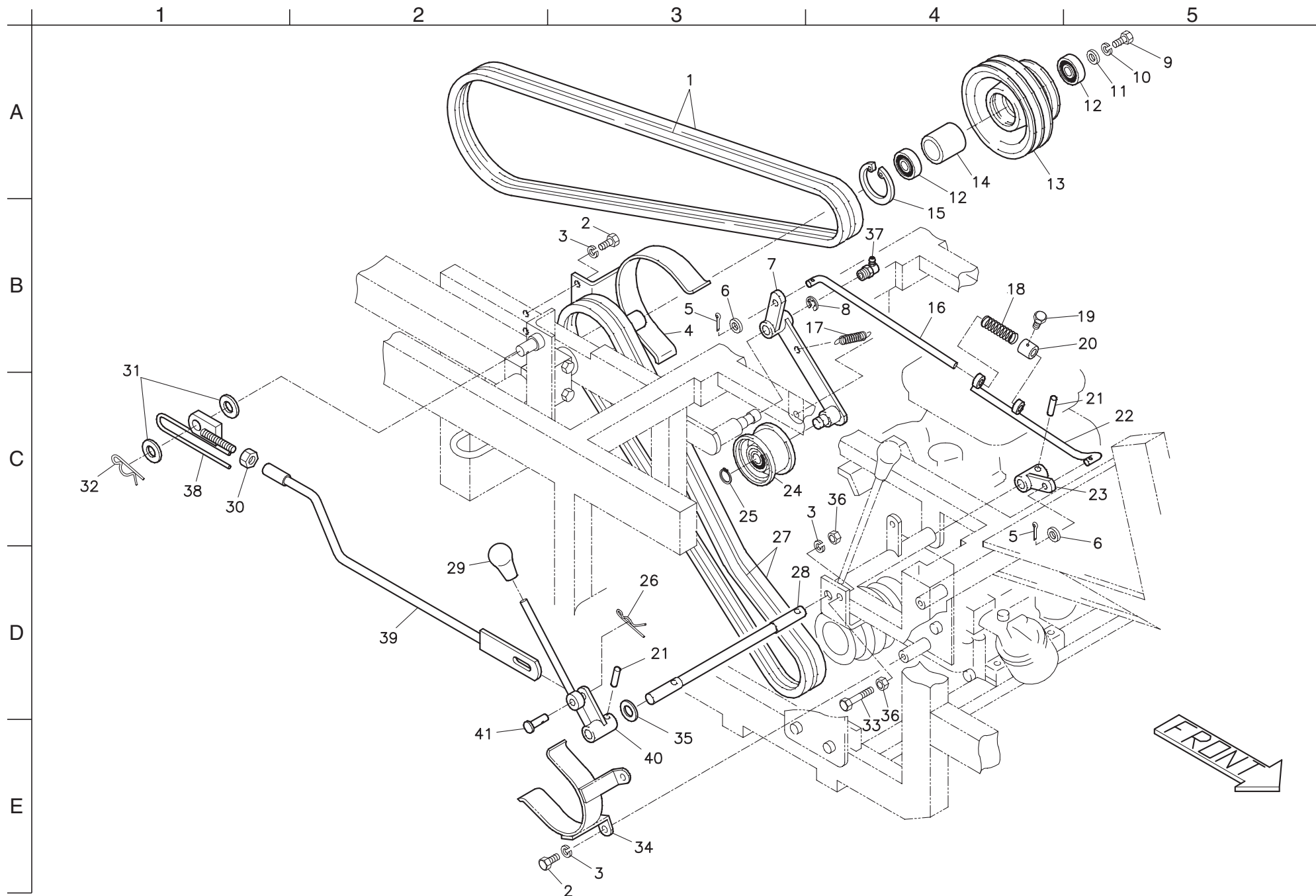


# 9 ブレーキ&クラッチ



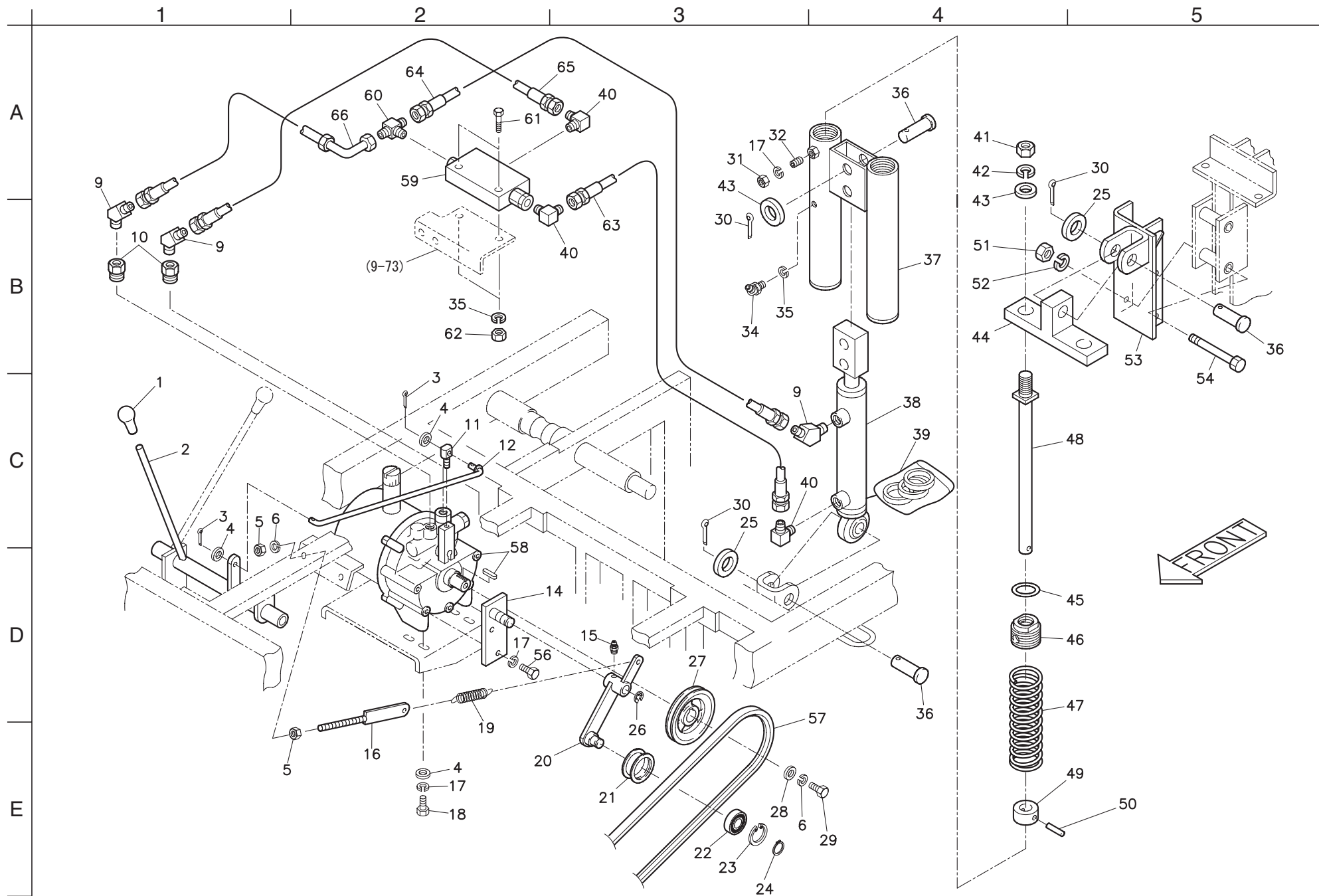


10 タインクラッチ





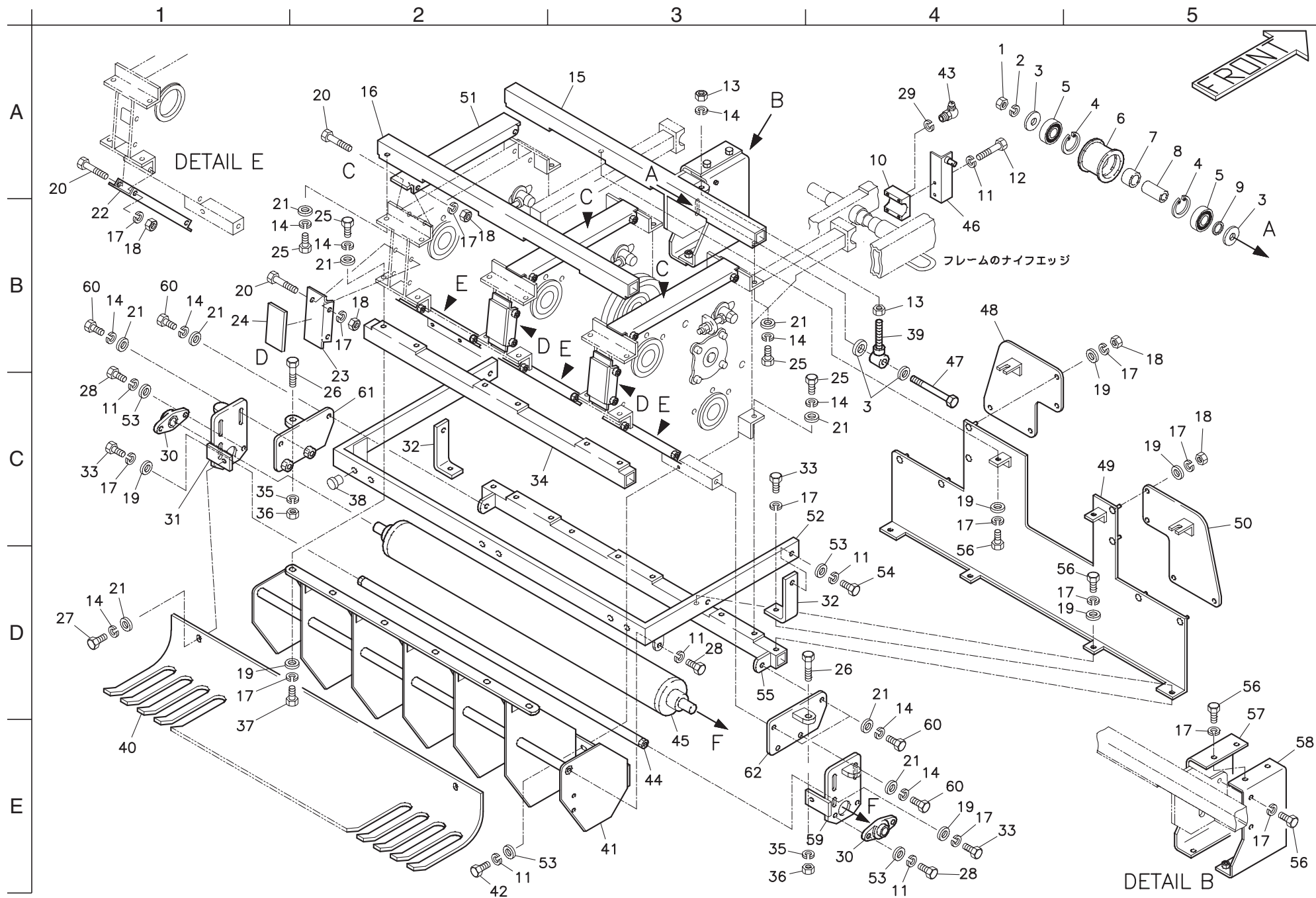
# 11 油圧シリンダ



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
11-1	K1300000050	9握り赤35.5	1	
11-2	GA1100-3307Z2	上下レバー	1	
11-3	K0300020202	2割ピン20	2	
11-4	K5000080002	8ワッシャー	6	
11-5	K0100100002	10ナット	2	
11-6	K0200100002	10Sワッシャー	2	
11-7				
11-8				
11-9	K3003060002-Y	45エルボ1035-6	3	
11-10	K3029000102-Y	特殊ブッシングPT1/4PT1/4	2	
11-11	K6122000062	パッケージ接金	1	
11-12	GA1100-3308Z2	上下レバーロッド	1	
11-13				
11-14	GA1100-3341Z2	テンション取付板	1	
11-15	K1440000010	グリスニップル	1	
11-16	GA1100-3366Z2	調節ボルトB	1	
11-17	K0200080002	8Sワッシャー	8	
11-18	K0000080252	8ボルト25	4	
11-19	K1030000048	2Uフックバネ1480	1	
11-20	GA1100-3342Z2	油圧テンションアイドル	1	
11-21	K2471180462	テンションプーリー1846	1	
11-22	K0612062030	ベアリング62032RD	1	
11-23	K0402040001	ストップリングR40	1	
11-24	K0401017001	ストップリングS17	1	
11-25	K5011020472	1SPCC座金2047	2	
11-26	K0400012002	ストップリングE12	1	
11-27	GA1100-3315ZD	油圧ポンプ付プーリー	1	
11-28	K5073210262	3.2SPHC座金1026	1	
11-29	K0000100202	10ボルト20	1	
11-30	K0300032402	3.2割ピン40	4	
11-31	K0100080002	8ナット	2	
11-32	K0023080301	8ホーローセット30	2	
11-33				
11-34	K1440000030	B型グリスニップル	2	
11-35	K0200060002	6Sワッシャー	4	

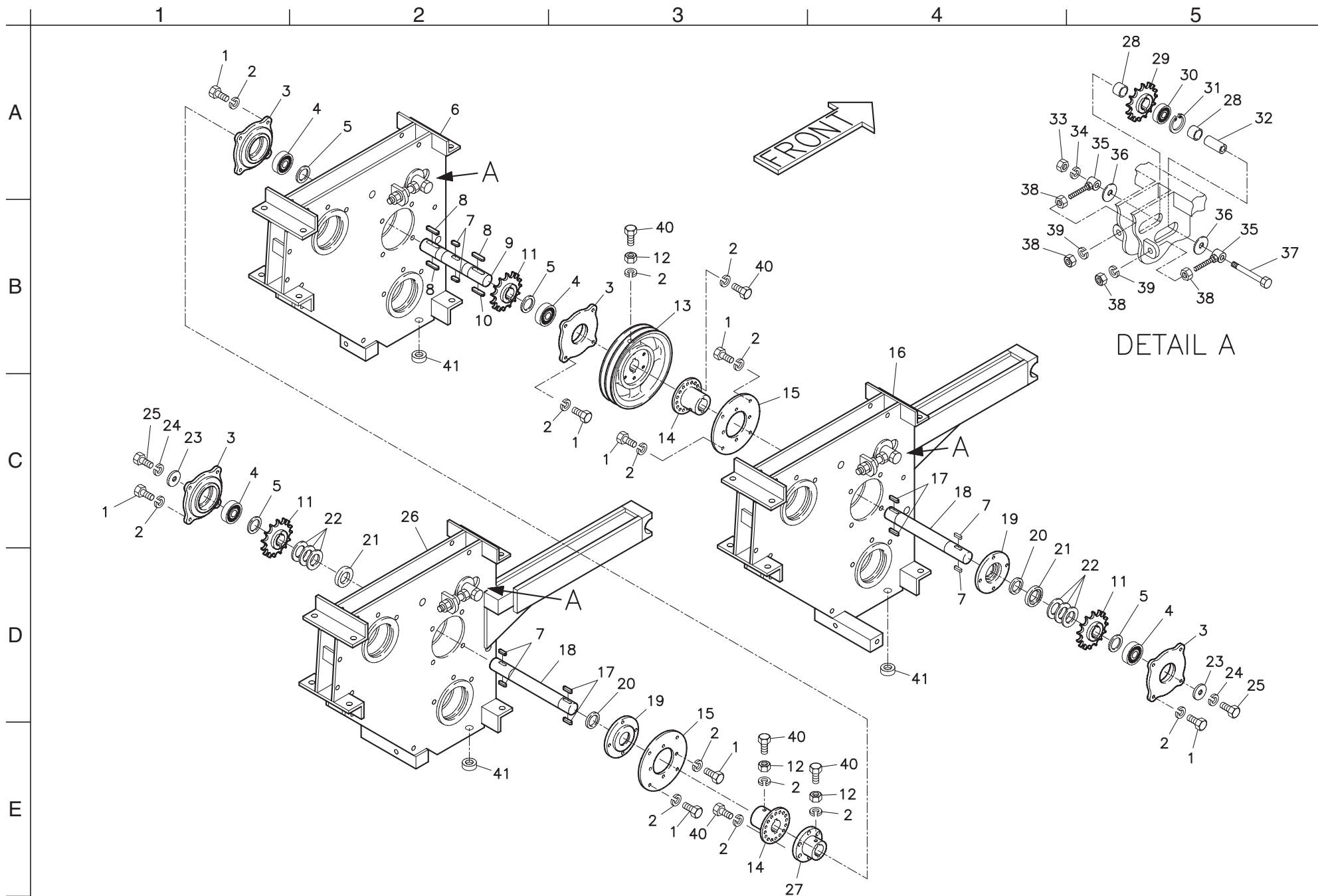
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
11-36	K6031200642	20焼入平頭ピン64	4	
11-37	GA1100-3603ZD	シリンダー付スプリングボックス	1	
11-38	K321300005D	40-170シリンダー335	1	
11-39	Y1S-980127	シリンダーシールキット	1	
11-40	K3001060002-Y	90エルボ1033-6	3	
11-41	K0100200002	20ナット	2	
11-42	K0200200002	20Sワッシャー	2	
11-43	K5000200002	20ワッシャー	4	
11-44	GA1100-3605ZD	スプリング軸連結金	1	
11-45	K0880020000	OリングP20	2	
11-46	GA1100-3606ZD	締付金	2	
11-47	K1000000880	4圧縮バネ37256	2	
11-48	GA1100-3604ZD	シリンダー付スプリング軸	2	
11-49	K6213000240	20孔付カラー3620	2	
11-50	K0324080351	8スパイラルピン35	2	
11-51	K0100120002	12ナット	2	
11-52	K0200120002	12Sワッシャー	2	
11-53	GA1100-3608ZD	シリンダー取付金	1	
11-54	K0013121002	12調質ボルト100	2	
11-55	K2913100200	シェルテラス46 20L缶	1.7L	
11-56	K0000080202	8ボルト20	2	
11-57	K2324029000	VベルトGLA29 A-4	1	
11-58	K3260000050	パッケージPPL5AC1R	1	
11-59	K3350000050	特殊パイロットチェック弁	1	
11-60	K3029000352-Y	特殊ティPT1/4PF1/4	1	
11-61	K0000060502	6ボルト50	2	
11-62	K0100060002	6ナット	2	
11-63	K3103210660	WP140-6ホース1-660	1	
11-64	K3103210470	WP140-6ホース1-470	1	
11-65	K3103210440	WP140-6ホース1-440	1	
11-66	K3103230360	WP140-6ホース3-360	1	

# 12 タインフレーム



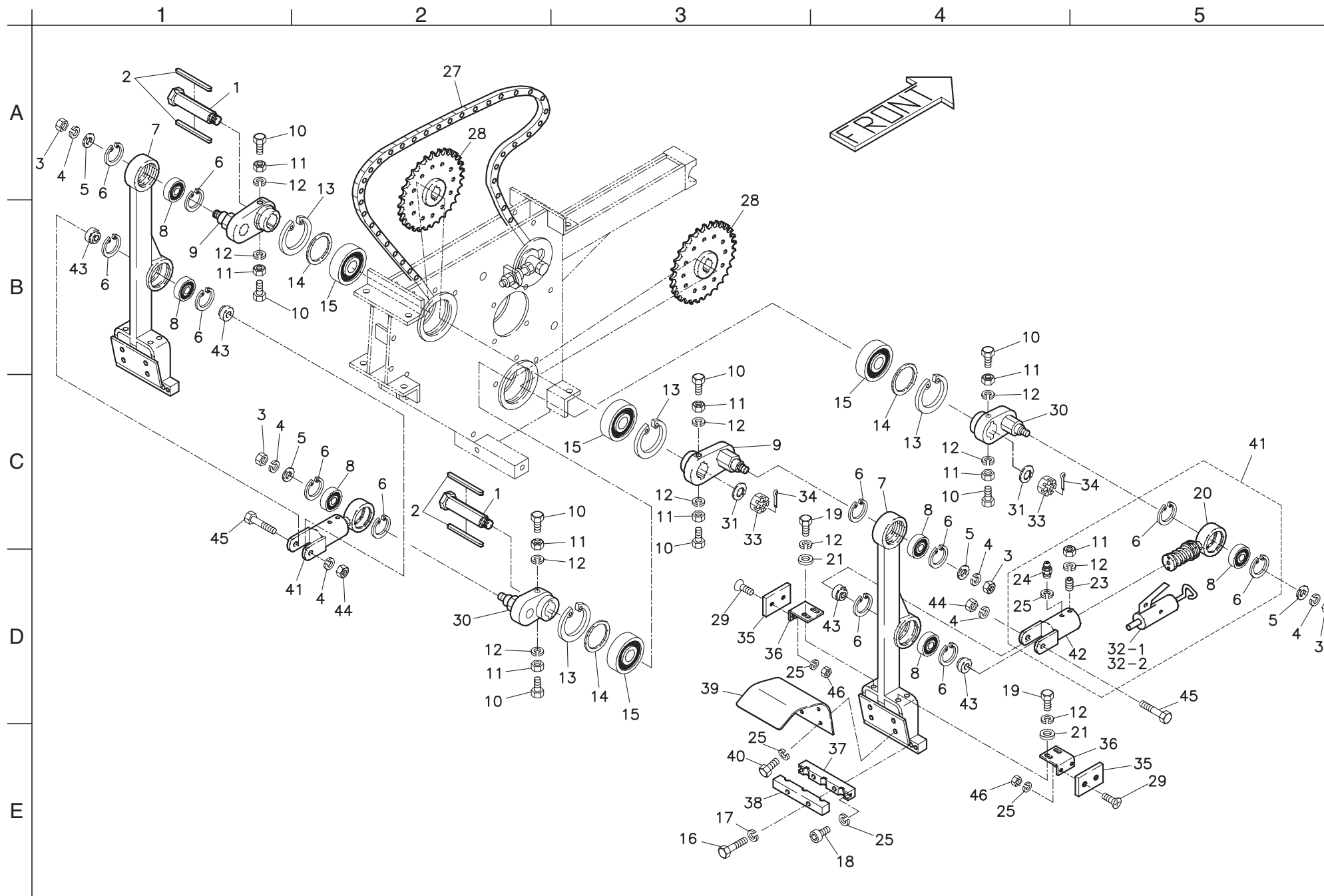
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
12-1	K0100160002	16ナット	1	
12-2	K0200160002	16Sワッシャー	1	
12-3	K5073216352	3.2SPHC座金1635	4	
12-4	K0402062001	ストップリングR62	2	
12-5	K0612063050	ベアリング63052RD	2	
12-6	K2473590782	テンションプーリー-5978	1	
12-7	K6212000472	26STKMカラー-3225	1	
12-8	K6212004030	16STKMカラー-2563.4	1	
12-9	K6212000062	25STKMカラー-344.4	1	
12-10	K6095000022	ナイフフレーム取付支点メタルフタ	2	
12-11	K0200100002	10Sワッシャー	17	
12-12	K0010100502	10調質ボルト50	8	
12-13	K0100120002	12ナット	2	
12-14	K0200120002	12Sワッシャー	35	
12-15	GA1100-3404ZD	前上連結パイプ	1	
12-16	GA1100-3405ZD	後上連結パイプ	1	
12-17	K0200080002	8Sワッシャー	46	
12-18	K0100080002	8ナット	26	
12-19	K5000080002	8ワッシャー	22	
12-20	K0003080702	8ボルト70	18	
12-21	K5000120002	12ワッシャー	34	
12-22	GA7000-0555ZR	チェンカバーC	3	
12-23	GA1100-3532ZR	チェンカバーB	3	
12-24	GA1100-3574ZO	ゴムスポンジ100-50	3	
12-25	K0010120252	12調質ボルト25	24	
12-26	K0010140702	14調質ボルト70	2	
12-27	K0011120252	12調質ボルト25P1.5	2	
12-28	K0010100252	10調質ボルト25	4	
12-29	K0200060002	6Sワッシャー	2	
12-30	K0661204010	ヒシフランジュユニットUCFL204L2	2	
12-31	GA1100-3413ZD	ローラーブラケット左	1	
12-32	GA1100-3519ZD	バンパー取付板	2	
12-33	K0000080202	8ボルト20	4	
12-34	GA1100-3406ZD	後下連結パイプ	1	
12-35	K0200140002	14Sワッシャー	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
12-36	K0100140002	14ナット	2	
12-37	K0010080202	8調質ボルト20	6	
12-38	K0900300120	膜付グロメットC30SG12A	6	
12-39	GA1100-3425Z8	ベルトテンション金具	1	
12-40	GA1100A0417ZD	芝押工板	1	
12-41	GA1100A0408ZD	タイン取付部ガイドボックス	1	
12-42	K0010100202	10調質ボルト20	3	
12-43	K1440000020	C形グリスニップル	2	
12-44	GA1100A0418ZD	スクレパー	1	
12-45	GA1100-3416BD	ローラー	1	
12-46	GA1100-3396Z2	ロッド取付部	1	
12-47	K0013161401	16調質ボルト140	1	
12-48	GA1100-3502ZD	クランク前カバー左	1	
12-49	GA1100-3518ZD	クランク前カバー	1	
12-50	GA1100-3504ZD	クランク前カバー右	1	
12-51	GA7000-0553ZR	チェンカバーA	3	
12-52	GA1100-3517ZD	カバーバンパー	1	
12-53	K5000100002	10ワッシャー	9	
12-54	K0010100302	10調質ボルト30	2	
12-55	GA1100-3407ZD	前下連結パイプ	1	
12-56	K0000080152	8ボルト15	10	
12-57	GA1100-3528ZD	ベルトカバー左	1	
12-58	GA1100-3527ZD	ベルトカバー右	1	
12-59	GA1100-3414ZD	ローラーブラケット右	1	
12-60	K0010120302	12調質ボルト30	8	
12-61	GA1100A0411AD	ローラー取付金左	1	
12-62	GA1100A0412AD	ローラー取付金右	1	

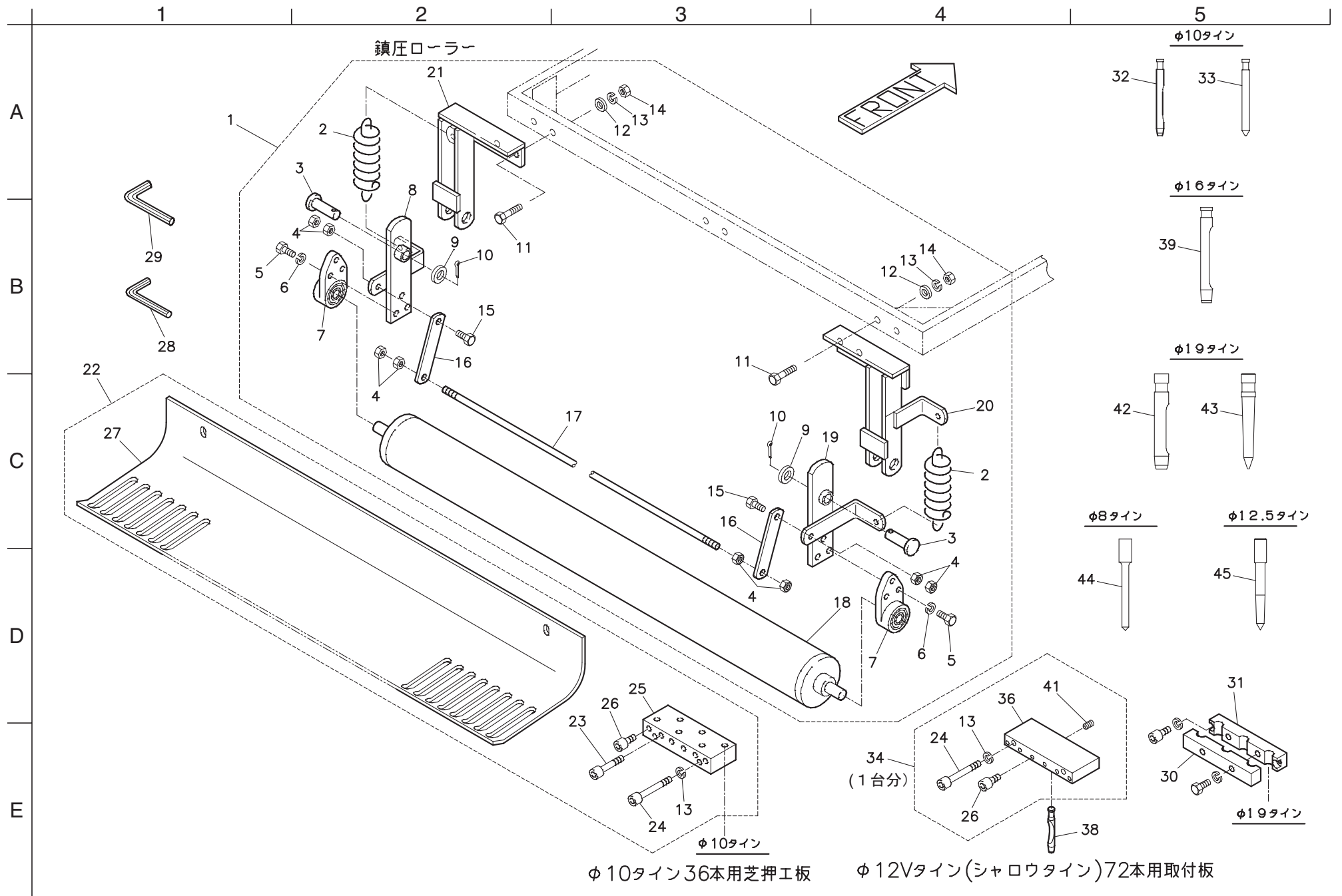




# 14 クランクタイム







A

B

C

D

E

1

2

3

4

5

29

28

22

27

鎮圧ローラー

21

2

3

4

5

6

7

4

8

9

10

11

15

16

17

18

19

20

23

24

25

26

12

13

14

12

13

14

11

10

9

15

16

4

7

6

5

11

10

9

15

16

4

7

6

5

11

10

9

15

16

4

7

6

5

12

13

14

11

10

9

15

16

4

7

6

5



32

33

φ16タイン

39

φ19タイン

42

43

φ8タイン

φ12.5タイン

44

45

34 (1台分)

24

26

13

36

41

38

31

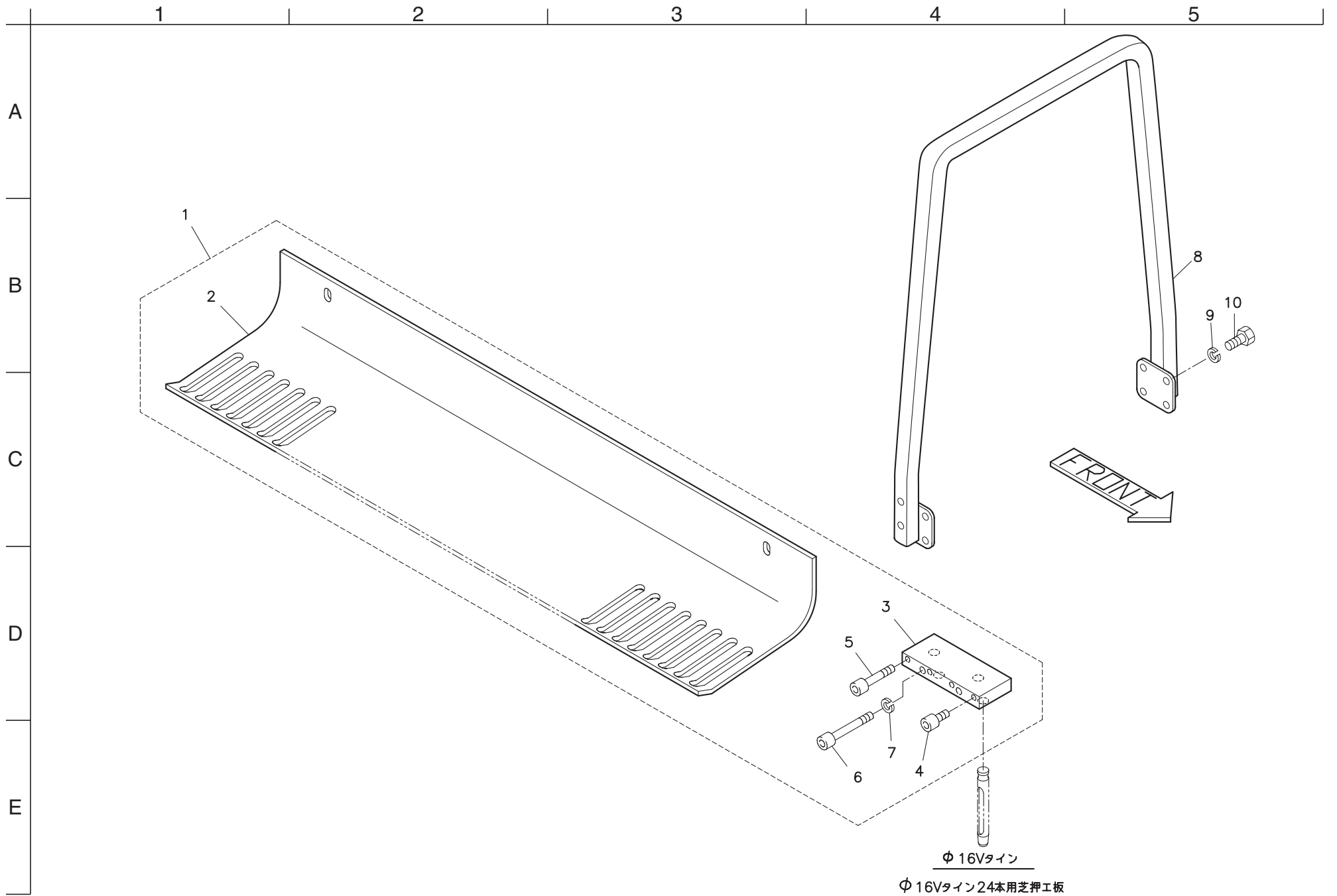
30

31

30

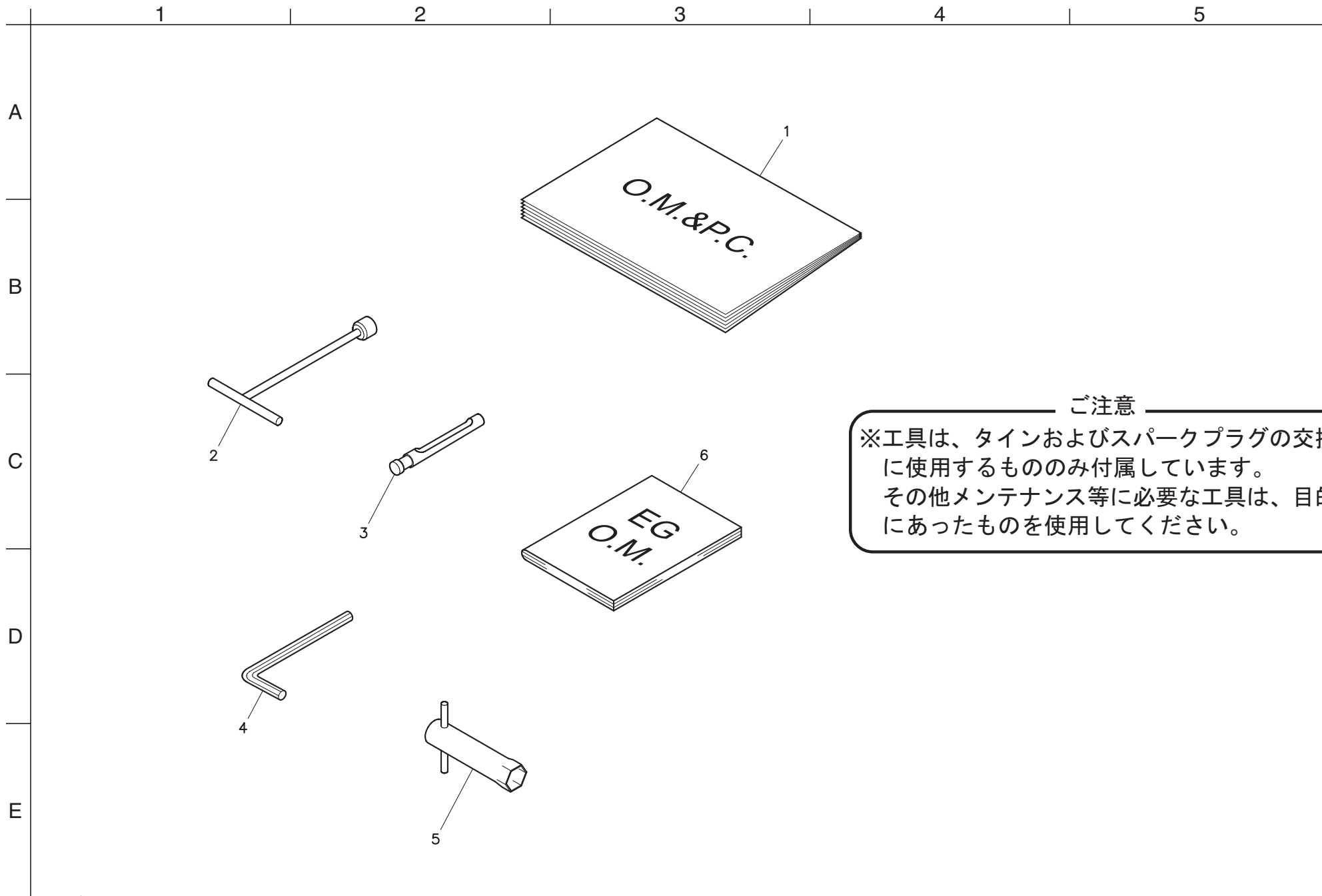
φ19タイン





カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
16- 1	GA1100A4510ZO	φ16Vタイン部Ass'y A	1	
16- 2	GA1100A4501ZD	φ16タイン用芝押工板A	1	
16- 3	GA7000-1175Z2	φ16タイン取付板4	6	
16- 4	K0060080150	8ステン六角穴付ボルト15	12	
16- 5	K0060080500	8ステン六角穴付ボルト50	12	
16- 6	K0060100800	10ステン六角穴付ボルト80	12	
16- 7	K0200100002	10Sワッシャー	12	
16- 8	GA1100A1501ZD	ロールバー	1	
16- 9	K0200120002	12Sワッシャー	8	
16-10	K0000120252	12ボルト25	8	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考



— ご注意 —

※工具は、タイヤおよびスパークプラグの交換に使用するもののみ付属しています。その他メンテナンス等に必要なのは、目的にあったものを使用してください。

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
17- 1	750103-74	GA1100A取扱説明書&パーツカタログ	1	
17- 2	K481217A002	ボックススパナ17-200	1	
17- 3	GA7000-1101Z0	φ16Vタイン125	18	
17- 4	K4813050001	六角棒スパナ5	1	
17- 5	K4817000020	5/8プラグレンチ70	1	
17- 6	750108-7	ブリグス取扱説明書	1	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考

**BARONESS**<sup>®</sup>  
Quality on Demand



株式会社 共 栄 社

〒442-8530  
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84 - 1221  
FAX (0533) 84 - 1220